

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B1	試練に立ち向かう勇気 ★	地上界は試練の場。試練やカルマはマイナスではない、悪ではない。その中から学び、それに対処する道を開くものが真理の道。 『汝の惡に抗するなかれ』厳しさの中から磨かれていく、偉大な魂となる。勇気を持って歩みなさい。	O
B2	子供の育て方	親が迷っているが故に、その子供まで迷わせてしまった。 物質をかき集める能力、金儲け、奪うことしか教えず、野獣的精神を培った。精神教育をして人間の本質・本当の目的を教えねばならない。まず始めに親が目覚めなければならない。	O
B3	父母の役割・教師の役割 ★	自己欲望、金銭稼ぎ、父母の欲望を果たすために子供を育てている。 子供の精心面・愛情問題を大切にして、素直に育てるここと。 心の教育をすべき。今は親の道具・ロボットになってしまっている。 親を信頼してないから裏切る。親が80%悪いカルマを背負わせる。	N O
B4	盗みの罪について	あなたは神の物を盗んでいる。神の物を「私の物」と言っている。 妻・夫・子供・自分も神によって造られたもの。全ては神から出てきた物で自分の物ではない。裁く権利もない。神からお預りしている。	
B5	宇宙エネルギーとは何か(食のバランス)◆★	※A135参照	
B6	真の自分について	私達は"肉を通して神我顕現"をするために存在している。 完全さを現すには勇気がいる、周囲の惡に耐え切れるか。 五感の感化（サタン）に負けないように勇気を持って取り組むこと、 それが真の難行苦行。簡単に手に入らないからこそ値打ちがある。	
B7	光とは何か ★	大宇宙は光そのもの、全ては光によって存在する。 闇は人間の迷いにのみある。光とは何かを自覚したとき、夜がない。 光の中に光以外のものは存在しない。闇を認める者は闇の中に居り、 光を認める者は光の中に居る。段々と神になるのでなく、今の今神。 それを素直に認めるか、遠回りをするか。	
B8	水とは何か ★	水は不可視の質料、靈的質料。神の心であり、形の親。 『水と靈によって生まれなければ天国に入らず』。 宇宙空間は水分で満ち満ちている。若いうちは水分が70~80%あるが 年を取ると徐々に減っていく。毎日、汗・尿・大便で2.5ℓずつ排出さ れるが、その分の水をとらないと老化現象を起こす。	H J
B9	光の天使	私達の本性は愛・光である。光の天使となるには愛の実践しか残され てない、それが神我顕現。皆さんはその日によって光具合が変わる、 何かあるとすぐに黒ずむ。完全愛に生きてる方が覚者方、天使方。 誰にも一点の光・神性火花がある。生まれながらにして光の天使。	O
B10	執着とは何か ★	執着とは囚われ・欲望・雜念。執着がなくなれば楽な人生。 何かに囚われていないか？真理に対して無知なるが故に自縛されてい る。見えるものや俗世に対しての執着がなくなると、引力から解放さ れて無碍自在・観自在に到達する。	
B11	真の内観について ★	内観とは「真の自分を知ること」、「内への問い合わせ」。 一日中、内観であること。自我では悟ることはできない。常に内観し 光を持ってくるしかない。その光は内なる神意識・深層意識・神我。 内に入らない限り、智慧は引き出せない。外なるものが内なるものに 求め始めたとき、内なるものが外なるものを支配する。	N
B12	分離意識の克服	外なるものに分離はあるが、内なるものには分離はない。古い意識を 捨てて内なる自分を把握しない限り、分離意識は克服できない。 『右手のやったことを左手に知らしめすな』増長満にならぬように。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B13	神一元について	神は形体の中に 神ご自身を顕現している。神しか存在しない。 あなたのうちに神が生きてるから、あなたは生きている。肉だと思ってたら自我しか表現できない。神の自覚によって神を顕現できる。 『真理は内にあり、外に真理を求めるなれ』ヒントは与えます。	
B14	研修会（テーマなし）★	「頭では解っているけれど、実行できない」。 それは自分があり、自分がやろうとしているから。盗みの罪。 あなたを通して働くのは神であり、あなたではない。だから話を聞いても聞いて聞かずで実行できない。自分を神に投げ出していない。 素直に、そのまま神に全託したとき自我は混ざらない。	
B15	実践行為	真理を知らないと実践はできない。『自我の行為、愛なき行為は無に等しい』。実践行為には奉仕（無条件の愛）が伴わねばならない。 神のみが生きて働く、神への全託、真理の行為、これが解らなければ実践はできない。身・口・意の正しい実践が、真の実践行為である。	O
B16	エネルギーの使い方 ★	身・口・意でエネルギーを使っている。 「積極的」な思いと言葉は、宇宙エネルギーの補給。 「消極的」な思いは、エネルギーの消耗。無駄な お喋りも消耗。 病気はエネルギーの使い方が下手な人で、神との分離で疲れを起こしている。エネルギーを正しく使うか、間違えて使うかだけ。	J
B17	白い道 黒い道	白い道は神我・光明。ホワイトイーグル・白色同胞団のこと。 黒い道は 自我・闇・無明。自我は闇の世界を手探りで生きている。 白魔術は神我の世界で行われるもの。黒魔術は自我の世界で行われている奇跡や魔術。白い道、親鸞聖人の話。	K
B18	昇天とは何か	昇天とは意識の高揚。『天（神意識）と、地（自我意識）を上り下りしてのを見た』。これは覗き見の状態。 世の中から事件・争いを無くすには多くの人々のバイブルーションが高まること。瞑想は無言の奉仕、一人の影響は全体への影響。	N
B19	平安とは何か	この世を実在だと思い、神に全託していないから心配が起こる。 心配はマイナス思考、臆病者。平気はのんき、プラス思考、勇気ある者。この世のものに囚われている限り、極楽はない。 空になり気が高まると、肉体は軽くなる。	O
B20	固定観念を捨てよ	見える物を絶対実在と見ていて、空を無視して色のみを見ている。 外観が固定観念を作り出す。固定観念とは、自己限定・自我意識・個人意識のこと。自分を宇宙と見るも、個人と見るも、自己選択。	
B21	改名とは何か	人間は偽名、本名は神。「宇宙」とは神の別名。我々の本籍地は神。 お釈迦様は「佛陀」、イエスは「キリスト」に人間から改名した。 肉体細胞は我々の分魂であり、我々は神の分魂・分靈である。 もし人間と神が違うならば、細胞と人が違うことになる。	
B22	自己解放とは何か	皆さんは自分を個人だと自縛して、無限に解放していない。 個人を無限に帰すことが解脱・自己解放である。人間・肉体・個人という思いが自縛靈となる。無限に覚醒したら、人間は夢だと解る。	
B23	気体は実相の自分 固体は仮相の自分	大気が固体を造り、大気が固体の中に宿っている。本質は大気。 固体は最低で、大気は最高の波動。人間という先入観が最大の敵。 『親が無知なるが故に、その子も無知のまま生涯を終わる』。 『愚者の言葉は災い、賢者の言葉は幸い』。 あなた方の幸せは一時的な作りもの、自己満足である。	
B24	自我の克服	自我もあり、神我もあるのか？自我はあなた自らが作った幻。 肉体があると思ってるのが自我。自分とは、自らを分けていること。 雑な物を見て意識してるときは雑念。思い一つで解放ができる。 目を閉じた瞬間、α波（靈波）が出る。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B25	心清き者は幸いなり	清い心は神の心。地上界に幸せな者（心清い者）は一人もいない。 幸せは、心に嫉み・誹り・怒りがなくなった時のみ。 不幸なのは人を裁くから。造られたもの同士が裁く権利はない。 心の目が清くなると全てが美しく、清く見える。	
B26	悩み苦しみは魂の促進剤	悩み苦しみがないと物事を考えず、進歩しない。苦しい時の神頼み。 苦しい時は何ぜ？と考える。心がこの世の物に満足していたら真理は求めない。『富める者は炎い、ラクダが針の穴を通るが如し』。 進化とは進んで変わって行くこと、変化。	
B27	吾大靈なり 何ぜ ★	知識的に頭で考えても、何の意味もない。 真の理解とは 大靈を身をもって感じること即ち『靈的体験』。 見たことのないものが見えたり、想像を絶する神の世界を体験する。 話を聞いて頭で詮索しても、何も起こらないし始まらない。 覗き見は知識的に見ているだけ、理屈ではなく体験あるのみ。	P
B28	正しい呼吸法 ★	呼吸とは外気を吸って内気を吐く、プラナヤマ。循環の法則。 物質的な面でも 智慧も知識も得たものは出す。入れるだけで出さない のは欲望。『与えよ、さらば与えられん』 与えないと入って来ない。 良い物も悪い物も受けて流す。それが執着のない、正しい呼吸。 イエスの呼吸法は神の息であった。	
B29 '2012	自分を捨てよ ★	自分があるなら、自分に負っている。自負、自縛。 自分に勝った時、自分が無くなる。自分が無くなれば、苦しむ自分、 悲しむ自分は無い。実在の生命を受け入れた時、自分は消える。 神我を選ぶか 自我を選ぶか、自分次第。これは真剣勝負で為す。 もっと真剣に力と勇気を付けること。	
B30 '2012	視野の拡大について ★	人間・個人という一部分を見てしまい、全体像を忘れている。 例えば、人間の一部を見れば指だが 本体は人間であるように、人間は 宇宙の一部であり 本体は全宇宙。象の一部分を触って何だと言っている ようなもの。部分的な物の見方ではなく、総合的な物の見方をする。	
B31 '2012	食生活と靈の関係 ★	アンバランスな食生活は肉体だけでなく、幽体・靈体・光子体にまで 悪影響を及ぼす。特に飲み水の影響は大きい。 幽体はカルマの蓄積体、肉体は幽体の映し。寝ている時は幽体離脱して 幽界に行ってる。肉体頭脳・幽体頭脳・靈体頭脳があるので、起きた時には幽界（夢）のことは覚えてない。幽体寿命は約40年。	L O
B32 '2012	靈的に成長した人	靈的に成長した人は 精神性のものをよく自覚して理解した人。 物質・外に生きてる者は靈的には幼稚。成長した人は、あの人この者 という分離・差別がない。ここで話を聞いた分は靈的に成長する。 大宇宙も中心は内側に靈的存在がある。大宇宙は大靈界の中の存在。 一つの大生命の中に肉体が個別化されている。	
B33	宇宙法則	※A103 参照	
B34	正しい食生活 ★	食べ物にも人間にも陰性・陽性がある。バランス・中道が大切。 火と水のバランス。これは知識的に知っておかねばならない。 陽性の子供は陽性の食べ物を嫌う。これは本能的に知っている。 水にも石にも 物には全て陰陽がある。食べ物のバランス（適食）と、 心と体のバランスをとることが大切。	J L N
B35	時間 空間 距離は存在しない	『普遍意識』一つのものに時間・空間・距離はない。 無限は”はかれない”。一瞬の中に実在がある。無数とは数がない。 0には始めがなく終わりがない、空の状態。無限を計るには無限大の 物差しを持って来ないとならない。無限に生きよ。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B36	人間とは何か ★	人間と水は同じもの。水はH ₂ O、水素と酸素の結合で全て造られる。水素と酸素（水と光）が本質的な自分であり、人間は形の自分。酸素は大切にせねばならない。溶存酸素の多い水を飲むと脳は活性化して智慧ある者になり、人間を酸素で満たすと光人間になる。全ての病気の原因は酸素欠乏である。血液を動かしてるのは酸素。あなたの吸ってる酸素と、私が吸ってる酸素は同じ酸素。	G H I J
B37	生と死	生きることと死ぬことの意味が解らないから、死を恐れている。寿命は伸びたり縮んだりしない。生まれる日も死ぬ日も時間も、生命が定めている。戦争で死ぬのも、洪水で死ぬのも天命。 ※インドにある、覚者方の部落について。	
B38	カルマの克服 ♦	※A98参照 カルマがあると地上界に生まれ変わる。それはカルマの大聖が管理している。真理を知らぬことが最大の罪・カルマである。神我に目覚めるとカルマは超える。自然法則を超える宇宙法則は、愛と調和。	
B39	天気	天の気＝エネルギー。大気＝宇宙エネルギー。 気象＝エネルギーの現れ方、陽気・陰気。気流＝高気圧・低気圧。 「気」を辞典を引いて研究すると良い。気を不調和にすると病気。	
B40	意識の高め方	意識的に意識を高める。それが「内観・瞑想」。 外側を意識すると意識は低くなり、内側を意識すると高くなる。 表面意識・潜在意識と言うが、宇宙には一つの普遍意識があるだけ。 表面意識は自我意識。神意識とは表面と潜在が一体で100%の意識。	O
B41	神を見る	神が何かを知らなければ見ることはできない。神は無限の広がり。 神の全てを見た人はいない、無限だから不可能。 それは無限の空間・原因で、書くことも説明もできない。 幻を見て神を見たと錯覚している。日蓮も原因ではなく結果。	
B42	神我到達	日常生活を普遍意識で生きていたら神我到達している。覗き見をして神我到達したと錯覚を起こしやすく、その者は自己顕示欲で傲慢になる。ある者は十の実を付け、ある者は二十の実を付け…という意味は、神我顕現を多くすればするほど闇の原子が光の原子になる。	
B43	無我の境地とは何か	無我とは自分が無くなることではない、何も無い状態ではない。 何も感じない、死のような状態ではない。 無我とは自我が無くなり、自分が生きて働いていると思っている状態が無い、本来の意識状態のこと。全一体感、神の中に入る境地。	
B44	善悪の識別	善とは神我、悪とは自我。人間は善にも悪にもなる。 悪という衣装を神が着けている。悪が出ると苦しみが出る。 ハートに神が着座すると良いことのみが定着する。相手は自分の影、自分が良くなると相手も良くなる。心が綺麗になると神が映る。	J O
B45	靈人とは何か	真の自分は大靈、光り輝く靈。靈肉一体のバランスで光が出てくる。 それが癒しの神性エネルギー。愛するとは光を与えること。 靈人とは光子体になった人で不死、人間は死の波動を持っている。 死ぬ肉に生きるのは殺生・自殺。死なない我に生きるのが無殺生。	A
B46	聖者は沈黙を守る ★	聖者方には自我意識が無い。沈黙とは自我意識が無い状態。 常に神我状態で意識が拡大された状態のこと。沈黙を守るとは五感が沈黙を守っている状態。それは瞑想の訓練・鍛錬によってのみ可能。 沈黙の力とは自我意識から解放された時の潜在能力のこと。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B47	靈的知識と物的知識 ★	知識と智慧は違う。現れてる物（外）の知識は持つが、本源的な物（内）の知識がない。お釈迦様は内から仏智を得られたが、皆さんは外に執着する。外で見れば他人があるが真理の世界には他人がない。靈的な物は永遠で聞いて理解できた分は持ち越す。物的知識はこの世限りのもの。※お釈迦様の悟りの体験。（アカシックレコード）	M N P
B48	真の生まれ変わり	死ぬ者は必ず生まれる、生まれる者は必ず死ぬ。これは輪廻の法則。出てきた所に帰るとは、神我へ生まれ変わること。過去世を知ることではなく自分の実相を知ることが大切。皆さんは神の生まれ変わり。カインは所有物、アベルは生命を意味する言葉。	
B49	神は宇宙科学 何ぜ ★	物は全て水素と酸素のバランス、H ₂ O。この宇宙は水の国、大海。溶存酸素の多い水は活性水で、腐った水は酸素欠乏の水。物を燃焼させているのは酸素で、水素は燃える要素。酸素と水素は常にイオン交換している。神は法則であり科学だが、化学だけを学んで宇宙科学を知らない。皆さんは宇宙科学を学んで、ユートピアを建設する先駆者。	G H I L
B50	肉体は幼虫 幽体は成虫 靈体は蝶	肉体・幽体・靈体、これが三世。 自分が肉体だと思うのは真っ暗な土の中にこもる幼虫のようなもの。人類は今幼児期にある。肉体は靈の仮の宿で、靈体になると制約がない。蝶のように幅広く飛んでいき、昇天する。美人とは靈体のこと。	C
B51	悪とは何か	悪は自我、自我とは迷い。悪はまだ熟していない善。神我に目覚めいない心の状態から出てくるもの。本来、惡靈はない。靈的力を悪に使うか、善に使うかだけ。神は絶対善、唯一のエネルギーしかない。	
B52	潜在能力とは何か ♦	※A100参照	
B53	愛は神と魂を結合させる ★	愛は物を引き寄せる力、吸引力。愛がなければ神と魂が結合しない。憎しみは分離・反発。愛であれば粗雑な細胞体が精妙体に変化して、昼夜の意識の区切りがなくなる。——イエスの説法——『子があれば、必ず親がある』という単純な言葉で説く。言葉数多く説くことではなく、ヒントを与えること。心身の神癒が行われる。	N O
B54	道徳とは何か ★	道徳とは得する（徳を積む）道で、愛と調和のこと。道徳の反対は、不調和・損失。金の損得は知るのに、心の面の損得を知らない。我々は人を裁く権利は持たず、許すことしかできない。それには勇気がいる。我々は抵抗値が高い。無抵抗なら宇宙エネルギーが流れる。	N
B55	生命のパン	『私を食する者は永遠に死ない』生命のパンを食さねば、死にゆく無価値な人間となるが、食すると魂が死より上げられ永遠に生きる者となる。私を食するとは生命を受け入れること、理解すること。	
B56	現象我の克服	見える現象の背後に見えないものがある。表現自らは無である。生きているのは靈のみだが、人間は自己意識を確立してしまった。イエスや釈迦は内なるもの・神の計画を全うした者。あなたが完全な物の見方をしたなら不完全は存在しない。『汝の信する如くなれ』。	B
B57	生命には区切りも分離もない	一つの生命においては始めも終わりもない。分離もない、普遍。どんなに形体が違っていても、全ては同一のもの。神のみ（生命）が生きている。全ての中に生命を宿さぬものはない。五感の感化で捉えると躊躇する。どこより語っているのか？	
B58	無機物と有機物 ★	物質は無機（エネルギー）と、有機（質料）の混合体。今の水道水は有機物（ゴミ）が多いが、自然の湧き水は地層のフィルター・天然の逆浸透膜を通ってくるので、有機物（ゴミ）が少ない。有機物の少ない水を飲むと血管・腸内・細胞の合間にきれいに洗い、掃除して出てくる。※ソリュースの中性水のこと。	H J M P

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B59	真面目と不真面目	真面目な人とは仕事をマジメにやる人ではなく、眞の側面・本当の面を見る人のこと。眞我は眞面目で、自我は不真面目。 眞の面の目だから、心の目のこと。肉の目は不真面目。 素直とは「そっちょく」。直接、素（もと）に命に繋がること。	
B60	愛の法則	神は大調和・大愛であるが故に完全、プロフェクトバランス。 自然法則と宇宙の心の法則を調和せしめねばならない。 質料とエネルギーを切り離さない為に、常に愛でなければならない。	
B61	長命と短命	長生きとは永遠の命に生きること。自我で百歳生きてても短命、自殺。 命は伸び縮みしない。永遠の命に目覚めると焦りがなくなる。 永遠からすると人生は一瞬の出来事、夢物語。 イエスが33日間 荒野を飲まず食わずで彷徨ったのは、33年間 生命を食せず 自己の世界を彷徨ったという意味。	
B62	愛のみ実在	愛は全てで、存在の本源。現れてる愛と現わしている愛は同じもの。 色も空も愛。光分子（原子+）と水分子（電子-）が完全結合したのを水晶（みずあきら）、聖書ではイズラエル人（愛の人）水晶人間。 宇宙そのものが大水晶。陰陽の法則、原因結果の法則があなた。	
B63	神性とは何か	原子（靈）と電子（水）が神性。その調和でもって全ては生まれる（中性子）。神性とは真理・創造原理・存在の本源のこと。 全てに神性が宿っている。人間とは神性の仮の姿、神性を自分だと見なければならない。神性だと思うことが神性意識の開発。	
B64	微生物と人間関係について ★	嫌気性は土壤菌・建設型。好気性は空気中の菌・分解型。 体内は嫌気性で、呼吸で好気性を取り込んでいる。嫌気性と好気性は女と男の関係、イオン関係で引き寄せ合って子供を生む。 微生物バランスを崩すと病気、癌になる。今は塩素の入った水道水で殺菌・殺人をしている。※清里で雪の精霊達と出会った話。	G J
B65	心に太陽を持て	太陽=エネルギーの根源。太陽は三つある。 靈太陽と自然太陽があり、私達の心の中心にも靈的太陽がある。 心の太陽は利己主義的な波長がない。自分がある間は利己的であり、神のエネルギーを得ることができない。与えれば、与えられる。	
B66	父と子は一体	父（原因・内界）と子（結果・外界）は一つである。 結果は原因の中におり、原因は結果の中におる。原因と結果は不可分。私達は、まだまだ原因と結果の識別がついていない。	
B67	神我はプラス思考 自我はマイナス思考	本来は+思考しかない。神が完全なのは-思考がないから。 神は不完全な物を造っていない。思いが物を作り出している。 -を思えば-が現れる。意識を+のみに正しく使うと、南無になる。	
B68 '2013	自由意志とは何か	人間だとも思えるし、神だとも思える。神我に生きるも自我に生きるも自由。私達は自由意志があるが故に自分を不自由にしている。 鉱物・植物・動物には自由意志が与えられてない、制限がある。 宇宙に意識は一つしかないが、意識の仕方がいくつもあるだけ。	
B69 '2013	利己主義とは何か ★	利己主義とは自己中心。自分の思う通りになって欲しいと思う。 自分が主体、自分本位で物を見る。人の立場を無視して自分の物差しで自分の意見を押し付けること。そうすると嫌われる。人の立場で物を見て考えると非利己的になる。相手のレベルで物を見る。	N O
B70 '2013	心は意識	心・意識・神・生命は同一のもの。心（神）があるから私達は存在する。寛大な心とは宇宙意識・普遍意識・神意識。意識は本来、宇宙大。様々な意識があるのではなく、様々な意識の仕方があるだけ。 中心とは中は心と書く。我々は内側（中心）を見ないで、外を見ている。神を素直に受け入れることが大切。素直とは神（素）に直接。	D O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B71 '2013	無限の富とは何か	無限の富（智慧・力・愛）は初めから神より受け継がれている。この世の地位・名誉・財は消極的な富。使っても減らない永遠の富を得ることが人生の目的。その意味が解る人は、それを得る。この世の学問はこの世限りだが、靈的進化は次生まれても持ち越す。イエスの弟子達のように私が復活しないと永遠の命を信じないのか。	J
B72	使命	使命とは「命の使い」、「天使」とも言う。肉体は天・命に使われるもの、命・神の働く場。今皆さんには命ではなく、肉に使っている。文字は「肉の使い」とは書かない。名前も肉の名とは書かず「命名」と書く。日本の文字、漢字は真理そのもの。	O
B73	内は全体 外は個人	自我は利己主義、神我は非利己的・全体主義。 人は姿形という表だけを見て、無限生命という裏を見ていない。 表と裏、内と外、個人と無限の境目はない。あなたが良くなることが奉仕であり、全体に貢献すること。あなたの問題は全体の問題。	
B74	人間は何故争うのか	人間ほど争う動物はない。自分で自分を知らず、分離感があるから、無知だから争う。内を見れば全一体感、そこには争いはない。 真理を知れば争いはない。一体感は安らぎ、分離感は不安と恐怖。 宗教は未熟の魂の溜まり場、保育園のようなもの。	N O
B75	全ては自分 ★	私達は宇宙の一部であると同時に全体である。 全ては自分で同一の生命・力・智慧に基づいて正動・生動している。 真理は人に与えることはできない。何ぜ全ては自分なのか 答えは自分で出すこと。文字や言葉は真理にあらず、ヒントにすぎない。 外から來るのは知識、内から來るのは智慧。それは直感・天啓。	
B76	真理とは何か	真理とは実在。真理を学ぶとは、自分を学ぶこと。 姿形を自分と見て自分だと言うが、本当のあなたは生命・宇宙エネルギーそのものである。あなたの心臓は誰が動かしているのか？ 造られた物があるということは造り主がある。これが必然・法則。 宇宙は無限の陽極と、無限の陰極によって存在している。	
B77	ミクロは実在 マクロは非実在	マクロ=形・物質。ミクロ=粒子・分子。 マクロ（色）はミクロ（空）の集合体、色即は空・空即は色。 マクロは始めがあり終わりがあるが、ミクロは初めがなく終わりがない。ミクロは神の国、限りなく小さくなる。生まれることはマクロ・物質化、死ぬことはミクロ・非物質化。低分子が高分子になること。	K
B78	真我は光の自分 ★	地獄から這い上るとは、罪・病・死の自我意識から 神我意識への移行。あなたの肉体が神ではなく、あなたの神我が神。 自我意識が神なのではなく、内なる無限光=神我意識が神である。 自分に力はない、自力というものはない、神のみが生きて働く。 イエスの現象我の内に在るもの、あなたの内なるものがキリスト。	N
B79	肉体は大靈の住家	体の隅々までに靈がなければ、体は存在できない。 形をとった靈だけで物を捉えるのは制約。外念に内外や上下がある。 靈は大いなる一体があるだけ。大靈との一体感を意識的に為すこと。 変化は肉体だけにあり、大靈は不変不動・永久運動。悟るか、外されるかは理解能力。自己放棄の状態をキリストは十字架で現わされた。	B P
B80	心と肉体の関係 ★	心が物を見ている、肉が見ているわけではない。心（原因）が清いと結果が清い、心の原盤を清めなさい。肉体は心に絶対服従、病気だと思ったら病気を表現する。自分の心を野放しにしていいのか？ 私は原因世界を見ているから、結果次元を直すことができる。 キリストは想念コントロールの達人であった。常に不動でいること。	D

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B81	大靈との一体觀	大靈との一体觀で実在に入る。一体とは一つ、そのものである。 大靈の中に肉はあり、大靈は肉の中にもある。肉も大靈である。全ての万象万物（星々・惑星等）は大靈の中に留まり、大靈は万象万物の中に留まる。常に大靈を意識すると 心臓が左寄りから右寄りになる。	A B O
B82	献身 ★	献身とは神に我が身を捧げる、委ねる。献身的になると 謙虚になる。 肉体は自分の物ではなくて神の物、造り主に返納すること。あなたを通して生きているのは神ご自身、神が細胞一つ一つを管理している。 神に全てを委ねれば、取り越し苦労はなくなる。自負心を持っていたら 不安と恐怖がある。造られた物が造り主を認めた時に、智慧と力が現れてくる。これが本当の献身。	F O
B83	靈体×自然体=肉体 ♦	※A163参照	
B84	神は絶対善 ★	神の中に善惡はない、惡は実在しない。惡とは真理を理解していない状態。認めなければ 惡に力を与えないから影響を受けない。 神を理解し 神性がはっきりしてくると、絶対善に到達する。 天の蔵は、善の蔵。絶対善に目覚めなければならない。 仕事中にも瞑想はできる、座っている時だけが瞑想ではない。	M
B85 '2014	神我は巨人 自我は小人	私達は形を見れば小さいけれど、本質的には巨大である。 その無限大の智慧と力を出し惜しみしている。頭ではなく心で認めたとき、智慧と力は自覚に応じて現れてくる。あなた方は智慧ではなく、外に知識を求めている。物事は内に向けて考えること。	O
B86 '2014	自覚とは何か ★	自覚とは自分に自覚めること、覚者=自覚者。眞の自分はこの世にはいない、神の世界に属するもの。私は肉体をそこから誘導して語る。 あなたの内で今働いているのは私（神）。私はあなたと離れた存在ではない。あなたは、まだまだ私よりも外なるものを愛している。 私を愛する者は、私が愛す。――覚者方のオーバーシャドウ――	
B87	自分を愛せぬ者は他も愛せぬ	まず、自分を愛しているか？ 人を愛しなさいとは聞いているが、自分を愛しなさいとは聞いたことがないはず。人を憎んでいる時は自分を憎んでいる。苦しんでいる時は自分を愛していない。今まで愛されたいとは思ったけれども、自分で自分を愛したことはなかった。宇宙生命とは 神の愛。	N O
B88	完全意識とは何か	完全意識とは、完全なる心・神意識のこと。 意識とは創造力・原動力・行為・働き。何を意識するかで決まる。 不完全は自由意思によって、あなたが選んだもの。あなたが発した物は、必ずあなたに返ってくる。我々は受信機であると同時に送信機。	B
B89	正見 正思	正しく物を見るから入っていかねばならない。 正しく見ると『生命』を私として見ること。原因の次元で物を見なければならぬ。内観とは原因で物を見ること。皆さんは結果の次元で物を見聞きしているから、正しく見ていない。	B
B90	自己を見つめる瞑想 ★	眞の自己が何であるか解らなければ、瞑想はできない。 自己を見つめるとは、大靈への一心集中。それを訓練・鍛錬する。 雑念がある限りは自我意識、本当の瞑想には入っていない。 皆さんの瞑想は真似事、遊び半分である。眞剣に瞑想をしなければ、靈的自覚は高まらない。眞剣に求める者のみが到達する。	A (A) O
B91	意識の高揚	意識とは思い、思念。自我の世界に意識の高い人は一人もいない。 みんな肉体を自分だと思っている。意識の高い人は愛・調和の生活をしている人。自我で真理の実践、正しい行動はできない。 瞑想しないで意識の高揚はない。瞑想嫌いに意識の高い人はいない。	M N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B92	全一の意識 ★	意識は全体としての神意識があるだけで、部分的な意識はない。勝手に部分的なものを意識しているだけ。全体は神、神は全体。全体という真実があるだけ。誤ったものを認めていて答えは出ない。全体から分離するから神の智慧と力が働かないのである。	
B93	憶念と外念の識別	憶念とは内を意識すること、外念とは外を意識していること。意識の目、意識で自分の本源本質を見つめる。そこを、念する。常に憶念し、常に内観しなければならない。憶念しないでは靈的自覚はできない。まだまだ、あの者この者と言う限りは分離感。	O
B94	宇宙エネルギー即自分	神のみがあるとは、エネルギーのみがあること。気体・液体・固体は全てエネルギー。形・色・音もエネルギー。肉体は自然体で、その中に生命エネルギーがある。自己発見とは宇宙エネルギーの大発見・大発明。永久モーターの開発とは、永遠不滅のあなたを開発すること。	
B95	一度に二人の主人を持つことはできない	自我（肉）に生きるか、真我（命）に生きるか二つの選択・自由意思がある。自我にも生きて、真我にも生きることはできない。肉というエーテル質料に、智慧・力・息を与えていたのは靈である。我々は神の無限供給によって供養されているが、肉に自己満足している。肉があなたではない、命があなた。	
B96	原因とは何か 結果とは何か	唯物論は結果論。実論とは靈的なもの、真理のこと。大靈は大原因、その結果が映しの世界。見える物の中には原因と結果が表裏一体となって存在する。この世の物は粗末にしてはならない。この世・あの世はない、神一元の世界。	
B97	生命は能動原理 肉体は受動原理 ★	能動（+）と受動（-）のバランスを崩すと病気になる。私達は動物、動く物。動かないと死。働かないとバランスが崩れる。地球も北南の中心軸があり 東西へ循環する。宇宙は循環の法則に基づいて存在する。動くから生きている。私達の体も同じ、血液も循環。誰も愛さないので、誰も愛してくれないと言うのは虫が良すぎる。	J N O
B98	キリスト神我は不可視の大靈	キリストとは神我・大靈・真理・真実。我々はキリストにより造られた表現。自分 IAMは大靈、肉体も大靈。宇宙そのものが神の意思。本当のあなたは全宇宙に遍満する大靈。始めから自我はない。実感とは真実・大靈を感じること。全てが大靈に見える自分。	B D
B99	神の声	完全沈黙を守ることで、神の声（靈聴）を聞くことが可能。靈的自覚が強くなると五感の感化は沈黙を守る。肉の意識は雜念。神との会話、キリスト意識との対面。その声なき声が全宇宙を響かす偉大なる声、力ある声。そこから語る言葉は力なり。	A
B100	自我は存在しない	神我もあり、自我もあるのではない『吾あるのみ、神あるのみ』。あなたが考えている「あなた」は存在しない。差別された生命はない、唯一の生命があるのみ。真理を知らない人間にのみ差別がある。神我が現れたら『無我』になる。	
B101	神理と物理の識別	神理学は科学、本当の学問。物理学は化学、偽物の学問。神理は神の理。化学は実際に無いもの。求道者を学者と言う。自然を知るとは神を知ること、大自然とは神の仮の姿。	K
B102	心 ★	心 = 意識 = 想念。神意識は神の心（愛）・良心・本心。神と共に生きると愛に生きること。神との一体感が連續的祈り。宇宙に心は一つ、皆さんは宇宙の中心。神の心／悪の心、何とでも思える自由意思を持っている。心の理解力を高めたなら祝福を受けた者、理解力がないと祝福から外された者。	D N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B103	冥想について ★	キリスト教では瞑想のことを「黙想」と言う。 瞑想は祈り、イエスの祈りは神の息であった。息は一つ、神ご自身。 瞑想とは神（宇宙生命）との一体感。宇宙生命そのものに成り切る、信じ切ること。それは無我の境地。意識的に合体していくこと。 白色同胞団も今、総出で人類救済のために立ち上がっている。	A (A)
B104	瞑想 ★	瞑想が何か解らなければ、瞑想したことにならない。 自己を見つめる『神相観』。大宇宙・大海原を実感する、即ち空海。 自我瞑想は欲望的なもの。雜念が浮かんできたら無視する。瞑想して る時は求めて、叩いて、探している。瞑想しないと知識で終わる。	A (A) N
B105	思いは生きている ★	思いは力なり。思った瞬間、影響する。罪・悪・病・死などの消極的な思いが（-）エネルギーを与える。消極的・破壊的な思いと言葉を捨てなさい。神は完全無欠、常に完全なる思いと言葉を語ること。 全ての消極的な思いを心から放棄し、積極的な思い（良い思い、正しい思い、幸せ、健康）を記憶するように命令する。	D
B106	肯定論と否定論	無限の智慧・力・愛の出し惜しみをしている。 今即大靈、今即宇宙。そのものであると素直に認めると、認めるものは現れる。なろうというは否定的、認めてないからなろうとする。 見える姿形を肯定して、真実・実在を否定している。	K N
B107	神は一にして多身 ★	原因は一つしかないが、結果は様々ある。 原因は無次元、空（0次元または一元）。現象世界は多次元。 鉱物・植物・動物・人間、多次元世界は相互関係で存在している。 全ての現象という多次元は、一なる神から発生している。 全ては一つと解ると、一つ目。靈の次元から見ると全体は一つ。	A G
B108	原因と結果は一つ	原因と結果は別々というのは分離感。造り主と造られた物は同じもの。水即氷、氷即水。生命即人間、人間即生命である。 原因は無限なら結果も無限。原因が神なら結果も神。 私と神とは一体である。一分一秒も神から離れて存在できない。 『全ての人類に神が示される時が来るだろう、その時は今』。	N
B109	宇宙法則と自然法則 ★	宇宙法則=生命の法則・真理・エネルギーの空の法則。 自然法則=物理の法則・物理・形として現れてる色の法則。 環境は、心の環境と自然環境の二つある。 自然法則は宇宙法則の中にあり、宇宙法則は自然法則の中に存在する。自然法則を支配しているのは宇宙法則である。今は二つの法則を犯している末法の時代。物理学者は天理学者でなければならない。	K
B110	意識のバランス	まだ表面意識と潜在意識のバランスが取れていない。24時間のうち、内をどのぐらい意識したか？時間ある毎に内を意識せねばならない。 表面意識が潜在意識を認めたとき、潜在意識は表面に現れてくる。 物事は角度によって見方が違う。表面世界には善惡が存在している。	
B111	神の国は原子と電子の国	靈は原子、水は電子。原子×水で物質は成り立っている。 原子一個にいくつの電子が付いているかで物の表現が違ってくる。 靈と水によって生まれたと知った者は神の国に帰るが、形体が何によって現れてるか知らないと帰れない。正法とは原子と電子の法則。 原子と電子のアンバランスが病気ならば、元に戻すこともできる。	K
B112	真我と自我は裏表	物には必ず裏・表がある。表は肉体、裏は生命である。 造り主と造られた物の関係。地上界の人間はみんな裏切り者、ユダ。 見えるものは無限大の空間と一つ。無限生命、見えないものが生きて いる。21世紀後半からは自分で自分を知ってるものがほとんど。	G N

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B113	エネルギーは無制限 ★	形で物を捉えてはならない。形を見て制限している。 エネルギーにはいかなる制限も制約もない、フリーエネルギー。 全てが宇宙エネルギーであると見ることができた時、一つ目。 答えは一つ、神という答えしか出て来ない。これが神一元。 毎日 刺激を受けてもこんなに厳しいもの、忍耐と努力が必要。 知識だけでなく、そういう境地になっていなければダメ。	
B114	生命は表現者 肉体は表現	この世は浮世で、心の影。毎日、映画を見ているようなもの。 ちょうど映写機から光が出て、心のフィルムを映して見ている。 大スクリーンで影を見て満足している。人生はあなたの心の反映であり、心にスモッグが出来ると曇りが映る。一人一人の心が良くなれば環境は良くなる。心を中心に生きると、全ては解決する。	N O
B115	意識 = 波動	意識は波動=バイブレーション。神意識=神は波動。高い波動=高いエネルギー。宇宙意識は宇宙バイブレーション、これがバイブル。 皆さんは元を正せば宇宙意識であり、意識は宇宙大である。 あなたが個人と思うことで宇宙エネルギーの流れを遮断している。	O
B116	肉意識は天国に入らず	血や肉は天国（実在）に入らない。実在の意味が解っていない。 あると思ってるものはない、ないと思ってるものが実在する。 氷があるのではなく、実在してるのは水蒸気。石や人間があるのではなく、エネルギーが実在。エネルギーが形をとっているだけ。 様々な形の本質はエネルギー。	C N
B117	大靈は真我 肉体は偽我	肉体が生きていると思ってるなら、個人だと思っているなら迷い。 『存在の本源は靈である』と悟らねばならない。 今日ここで大宣言できるか？『今即大我、今即久遠』と言い聞かすこと。これは永遠に思い続けねばならない問題。長い人になると3年かかる。地球惑星がなくなっても、靈的なものはなくなる。	N
B118	正義と悪	正義とは正しい義、神我のこと。悪とは自我。 悪が何であるかを知っていない。悪い事を悪いと思っていない。 盛られた毒を食ってはならない。外なる毒（農薬等）より、内なる毒（心の毒）の方が強烈。1分間の短気は一週間分のエネルギーを損失する。天使方を「ハイアラーキー」と言い、善なる心・無苦の方々。	O
B119	宇宙科学と自然科学	宇宙科学は不变・真理・宇宙法則。法がなければ物は存在できない。 自然科学は化学・物理・自然法則。物は循環の法則で動く。 宇宙法則は見えないもの、自然法則 見えるものはその支配下にある。 自然科学と宇宙科学は一体関係。地球の科学は幼稚で、低い次元から考えようとする癖がある。高い次元から考えると容易に理解できる。	K
B120	命は神我 肉は自我	我々はまだ神我と自我の識別がはっきり出来ていない。 見える自分を自分だと思ったがり、自分を普遍・無限だと思えない。 悪の克服とは自我の克服。真理（神我）を知らぬことが最大の罪。 今、肉に生きているのか、生命に生きているのか、常に選択する。 復活とは、死ぬ我から死なない我に蘇ること。	
B121 '2015	魂の進化について ★	魂の進化とは、物の考え方・表現の進化。 本源は変わらないが、低い表現から高い表現へと進化していく。 悪人とは、まだ熟していない魂。熟した魂は調和を表現する。 智慧と調和は正比例する。調和が高くなった分、智慧も高くなる。 7つのチャクラは下から上へ、進化と共に上がって行く。 表現の過程が完成された時、魂はなくなり魂と肉体から解脱する。	O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B122 '2015	魂の進化	魂が何であるか知らなければ、魂の進化はあり得ない。 魂とは想念形体、その背後に靈がある。魂界とは幽界のこと。 進化した魂とは、愛の想念を持った魂。 この世は幻で、肉体はスクリーン、魂（想念）はフィルムの様なもの。その背後に具現する靈（光）がある。想念いかんによって映しが違ってくる。正想念を持っていたら、正しいものが映る。	D
B123 '2015	大きい魂と小さい魂	魂とは器。魂は完全なるものに到達すると無くなる。 肉体を見るから小さいと思う。しかし 小さな物の実体は即大きな物、即ち偉大な魂。実体を知らない者は小さな魂。 私達は大宇宙の一部であり、全体である。それをよく理解している者は寛大な魂。真剣にやれば一、二か月で第一回目の靈的体験がある。	O
B124	水は何ぜ大切か ★	肉体は75%水分と言うが、私に言わせれば100%水分である。水なしで形は存在できない。鉱物・植物・動物も水なしでは生きられない。 ※水と健康状態について説明。大人は一日2.5ℓ以上の水分が必要。 血管の浄化は尿、腸の掃除は排便、細胞間の洗浄は汗として出る。 水分が少ない人は寒がりで暑がり、砂漠と同じ。水は全てに勝る薬。	H J M
B125	真理とは何か	真理とは真実・実在、即ち天。真理を知らないで、自分を知ることは不可能。真理（天）は汝の内にあり。内は真理、外は非真理。 真理=生命は全ての原理・原因。天照大神という生命が肉体に岩隠れしている。溺れる者を救うために、この世に舞い戻ることは大犠牲。	G N
B126	高分子と低分子	高分子は見えない、低分子は見える。高級靈は高分子、低級靈は低分子。高分子になるには意識を高めること。細胞の数はそれぞれ違う。今地球は死ぬか生きるかの状態。高度の物質文明が栄えると、自然が不自然になり沈没する。O ¹ 酸素の時代は植物も人間も巨大化した。地球が癌になると 天上界から地球を癒す医者が降る（先生のこと）。	H J K
B127	生命はポジティブ 肉体はネガティブ	私は人間と言うのは-思考、私は生命と言うのは+思考。 生命（陽極）と、肉体（陰極）のバランスを崩すと病気になる。 陰陽の法則と、+-のバランス（愛）で宇宙は存在している。 人間が存在してない=無我の境地、人間がいる=我的境地。 人間・肉体・個人という3つの迷妄を克服すること。	
B128	認識	認識とは認めて知る、そのものだと理解すること。 真実を知って、認めて、意識する。人間はまだ神を認識していない。 偽物の自分で認識しているものは、本物の認識ではない。 答えは、神という答えしかない。全ての言葉の意味は「神」となる。	
B129	肉体とは何か	全てが生命、全てが神。自分を追求して行くと、全て神に到達する。自己を見ると、無限大の宇宙を見ること。自我人間は自分を人間だと思ってるので、個人的神を作る。真理は何回もの繰り返しで得るもの。あなた方が得た教育は 全て仮説。真理は科学・宇宙科学。	
B130	善人と悪人	この世の中に善人はいない。善人は悟り人、悪人は自我人。 神我は一点の惡もない、絶対愛・絶対調和。 悪とはまだ熟していない善。神が惡を纏っている。熟すれば善人となる。転生を通して惡が削られ、無欠となって昇天する。 ここで靈的な話を聞いているのは、だいぶ熟しているから。	
B131	調和と不調和	真理を知らぬことが不調和・罪・惡。神我は調和、自我は不調和。 全体との分離感は盲想。自我で幸せと言うならば、自己満足。 神を知った時、悩み苦しみはなくなり 不調和はなくなる。 靈覚者とは靈一元に目覚めた者。そこから語る言葉は 正しく語る。 最終的に定めに入った時、神そのものとなる。神我到達。	B

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B132	原子と分子 ★	肉体は細胞の塊で、細胞体。私達は細胞そのもの。 原子（中心核・天命・靈）細胞が分裂して、分子（分生命・分靈）となる。一つの原子に75兆の細胞が生まれて来る。原子は変化しないが分子は変化する。分子は3ヶ月の寿命がある。子供は細胞の数が多くてエネルギーが高い。人間が万物の靈長とは、一番細胞の数が多い。	E F J
B133	自力とは何か他力とは何か ◆	※A16参照	
B134	意識によって形相は変化す ★	意識とは心・想念。意識は神ご自身。意識は生命。 私達は想念によって物を具現する。高い方に意識を向ければ高い現れ方をして、低い方に意識を向ければ低い現れ方をする。 原始細胞は完全を記憶している。完全意識を持てば細胞も変化していくので、内なる原始細胞の完全さが現れてくる。	E
B135	意識は創造原理	意識は創造の原理。自由意識・自由意思・自由選択が我々にはある。 意識のコントロールが重要。瞑想するとは、意識すること。 三次元は意識の影、自分の心が環境を作っている。自分は創造の場であると同時に創造の力。多く神を意識すれば神が現れてくる。 念佛とは仏を念じて、意識すること。	(A) D
B136	生命は原理	物の原理とは生命、それが力でありエネルギー。 生命は大原理であり原則。それはあなたの内にあるもの。 神は力なりき、エネルギーなりき。この力が物を生み出す。 生命は自分の住み家を自分で造り、自分を留めている。	B K
B137	全ては生命 全ては自分	生命の次元から見ると自他がない、全ては自分・自他一体・全一体。 形の次元で見るから他人がある。生命の次元で見ることが『内観』。 親鸞聖人は知識は悟りにあらずと気づき、念佛（憶念）に入った。	
B138	神我と自我は一体	神我が何か解らなければ、神我到達は不可能。 神我は原因・神・生命で、肉体は結果。原因・結果の法則。 神我到達すれば自他一体感。真理を知った時、本当に仲良くできる。 真理を知らない人間に「愛しなさい」と言っても無意味。 この世に救い主は一人、あなた自身。物的奉仕と靈的奉仕について。	
B139	全ては大靈	形をとった靈と 形をとってない靈は同一の靈、そこに境目はない。 形をとってる物と 形をとってない物が 別々だと見るのは分離感。 肉体とは即ち靈体。宇宙の中心・大靈は、あなたの中にある。 神は命令も、要求もしない。サイババ先生の食事を犬が食べた話。	
B140	自己を見つめる	真の自己とは姿形ではなく大生命・無限宇宙。肉の目では見えないが、意識の目では見える。心の目は、原因も結果も見える。 自分を見ることが深い瞑想状態。これが意識の拡大・内観・憶念。 自分を知った時、全てを知る。自分を見た時、それを受け継ぐことができる。『この世に満ち足りてない人は神の国を見るであろう』。	A B
B141	内は造り主 外は造られた物	外界は内界の反映。内なる物なくして、外なる物は存在しない。 見える物に目が眩んで、背後にある造り主を見失っている。 造られた物が、造り主を受け入れると『入神状態』。自我の考えで、一つも正しいものはない。外念で考えれば考えるほど泥沼にはまる。	
B142	天	真我に一心集注することで 自我は沈黙する。真我が何か解らなければ、集注できない。今からなるのではなく始めから生命という実在の自分を見つめることが瞑想。全ては一つ、全一体観。これが絶対実在であるという自覚と確信を持つために、そこに一心集注をする。	A
B143	地上天国	今即天、そのままにして天国。 物質次元も神の世界にある。神以外に何もない、そのままにして神。死んでから靈になるわけではなく、今即靈。ただ形をとっているだけ。物質界は本来はない、物質の本質は靈。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B144	宇宙意識と神意識	宇宙意識とは宇宙を意識し、個人意識とは個人を意識してゐる状態。 小さい器に無限大の物は入らない。器を大きくするには意識を宇宙大にまで拡大すること。自分は無限だと思ってる時は『神の心』。 無意識のうちに神を思えるまで、早い人でも3年かかる。	
B145	宇宙即吾	宇宙即吾とは、宇宙そのものが自分だと思っている意識状態・即ち『宇宙意識』。意識とは想念・意志力。意識は休むことがない。 何ぜ、自分が宇宙なのか？自分で知らないと宇宙意識にはならない。 答えを外に求めて外から得ていたら力はつかない。自分で出した答えは自分のもの。一日一つでいいから答えを出してほしい。	B
B146	普遍意識は悟り 個人意識は迷い	自分を普遍と思うか、個人と思うか。人間の正体・実体は無限生命。 人間とは何か？質問したら答え切れない。ここでは生命と言うが、家に帰ったら人間と言う。靈的体験とは大靈そのものに成り切った時。 悟りに後先はない。先に悟る者、後に悟る者、得る物は一つ、平等。 やすらぎの郷と放蕩息子について。父の家の入り口で覗き見をする。	
B147	内は神 外は人間	肉の目は外しか見えない。内を見るには意識の目で見ること＝内観。 人間（結果）は神（原因）から離れることはできない。 原因世界は第一原因である。生命は一つ、原点は一つ、真理は一つ。 原因と結果の法則とは、神と人間の法則。八正道と釈迦の弟子。 外はドラマ、心はフィルム、心の状態が三次元に映されている。	(A) B
B148	汝の見る物受け継がん ★	自我を見れば自我を受け継ぎ、神我を見れば神我を受け継ぐ。 あなたの思った物で、あなたの日常生活に現れない物はない。 神は完全のみを見て・思い・語るから、完全のみを現す。 想念とは具現する力、即ち念力。認めるものは現れる。完全を認めたら完全が、病気を認めたら病気を現す。完全を現すのが神我顕現。	B D J
B149	自分は無限か個人か	大概の人が自分を個人だと思っている。個人は普遍・無限の現れ。 普遍原質・無限原質が形をとっているだけ。エネルギーと質料の世界が普遍原質の世界。ここで話を聞いてもまだ個人だと思っている。 固体を自分と思うから個人意識が生まれる。使命とは命の使い者。	O
B150	視野の拡大	色と空を一体に見る。地球の陸地を（色）、海を（空）と例えると、 陸地と海は一つ。大宇宙も見える色の世界、空の世界がある。 色だけを見ても、空だけを見ても有限。色と空が一つになると無限。 宇宙が自分だと思わないで、宇宙バイプレーションにはならない。	B
B151	天国は汝の内にあり	神の国である生命・原因を掴めば、天国を掴んでいる。 真の自分の自覚を持つこと。知識の世界は上辺の力しか出ない。 神は我が内にあり、外しか見ないから神が見えない。内に求めた者のみが与えられる。忍耐強く叩きなさい、求めなさい。後は努力次第。	
B152	真の神の宮とは何か	大生命は形体を創造し、形体を通して表現する。人間は生きた神の宮。神は自らの住み家は自ら創造し、自らを留めたもう。自分自身がもうやがて見える。もう見えている、ただ想いだけ。神に到達することは、神であったと悟ること。自分が何者か解らない限り活動しない。	K
B153	意識の高い人 意識の低い人	意識に高い低いではなく、一つの意識を勝手に低くしている。 本来は普遍意識しかないが、個人と思うことで制限している。 体の中にあるエネルギーと全宇宙に遍満するエネルギーに境目はない。宇宙バイプレーションと同調するには、宇宙意識であること。	J
B154	完全と不完全	言葉の意味の追求が欠けている。答えを自ら出す訓練をすること。 完全とは実在、不完全とは非実在。神は完全だが私達が不完全にしている。外に生きてる限りは不完全。人間のみに自由意思を与えられているので完全・不完全がある。真理を知れば自ずから罪はなくなる。	A

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B155	エネルギーの高め方	この世の物は全て波長を持っている。 人間は万物の靈長で、何よりもエネルギーが高い。 物を動かすと振動が高まり エネルギーが高まるが、一番大切なことは意識の高揚によってエネルギーが高まること。 意識の拡大はエネルギーの拡大、自己限定はエネルギーの低下。	
B156 '2016	神は宇宙エネルギー	神は普遍的エネルギーそのもの、宇宙力・生命力。それは智慧を纏ったエネルギーである。エネルギーが高まれば智慧も高まる。 宇宙エネルギーを宿さないで物は存在できない。宇宙そのものが神界・エネルギー界。宇宙エネルギーは分離できない、全一体感。	
B157 '2016	全てに神を見る	外なる物は内なる物の反映にすぎない。 実相は神で、肉体は表現体。映しを見て、表現者の神を見ていない。 表現は様々だが、内を見ればただ一つの物の現れ。 色心不二とは、見える物と見えない物は一つという意味。 アクエリアスは統合の時代、全ては一つという目覚めの周期。	N
B158	原始細胞（原始キリスト）★	原始細胞は神の細胞、神と共にあった私。 全ての神の属性・神の記憶・愛・智慧・力を持っている。 これが私達の中心核であり、魂の中に留まる内在のキリスト・神我。 この一つの細胞が全体の細胞を支配している。 人間のアメーバ説・惑星移住説、どちらも正しい。	E
B159	靈は能動原理 肉体は受動原理	肉体と生命は一体でありながら、独立した存在。 生命は靈・能動原理、肉体は質料・受動原理。生き働いてるのは靈。 靈がなければ質料だけでは動かない。神は父（靈）にして母（水）。 それが調和されて人間がある。神は無限大の愛。	
B160	魂と罪の関係について ★	魂とは太陽のようなもの。魂の光輝を曇らせているのは罪という雲（スマッグ）のようなもの。本来の魂は一度も傷ついたことも汚れたこともない。自らの力でスマッグを取る。地球は魂の修行の場。 先生がイエスによって様々な意識階層に連れて行かれ見せられた話。	M
B161	無我とは何か	無我とは無私。私がある限り自我がある。無我の境地とは五感の感化からの解放。唯一の生命があるだけ、あなた方の生命は即大生命。 あなたもあって、私もあるわけではない、全一の生命があるだけ。 地上に使命を持って降りて来た方々でも、色に溺れて使命を忘れてしまう。それが「天使とて地獄に落ちる」。	N
B162	真実の自分と現実の自分	現実の背後には、必ず真実の自分（真我）がある。 現実は見えるが、真実は見えない。現象に取り憑かれて、背後の真実を見失っている。現実は消えゆく物、消極。真実は永遠、積極。 悩み苦しみは 現実が实在だと思って、そこから拾い上げているから。	
B163	不調和とは何か	不調和とは無知・自我のこと。調和とは智慧・神我のこと。 自分を知っていたら不調和は犯さない。原因追求が真理の追求。 人間には第三段階のイニシエーションがあり、まず第一段階は物欲の克服。食べるため、綺麗な洋服を着けるために生きてるのでない。	
B164	肉体は想念の道具	肉体自らは無、知恵も力もない。想念（生命）の力で生きている。 想念のコントロールが大切。想念が正しければ、正しい表現をする。 肉体が病気になるのではなく 想念が病気になっている。あなたの想念が完全であるならば、完全を現す。病気は誰が治しているのか？	D J
B165	井の中の蛙	肉体という器に閉じ込めて、普遍を見ようとしない私達。眞の自己は普遍的なもの。それが解らないと自己を見つめることはできない。 全てを知った時、命を知る。命は全ての支配者、休まない永久運動。 眞我は能動的、休むことを嫌う。自我は受動的、休むことを好む。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B166	生命は光明 肉体は無明	光とは調和、闇とは不調和。+と-が調和したとき光がさす。 肉の世界は自他があるが、生命の世界は全ては一つ・全ては我・完全無欠。神は愛なるがゆえに、光・力。無力なのは自我で生きるから。普遍意識になれば肉を持ちながらにして多くの人を守護できる。 皆さんは自分でここに来たと思っているが、私の意識が引き付けた。	B
B167	内的ビジョンと外的ビジョン ★	内的ビジョンは姿形がない実在のビジョン・内観・靈視。 外的ビジョンは姿形で見る外側のビジョン・外観・結果・雜念。 皆さんは五感で感じて判断して、外感で生きている。私は靈で感じて靈で判断する、靈感。識別には、よっぽどの努力と忍耐が必要。	P
B168	物質とは何か	物質とはエネルギー (+) × 質料 (-)。物質は神の子。 この世の中は+ - の結果。電気も+は能動、-は受動（アース）。 心が調和すると中性に近い状態、神に近い状態、完全となる。 不調和は+ - の核が狂った状態、力が出ない。愛（バランス）が力、愛そのものであればエネルギーそのもの。	K
B169	死の克服	死は無いから克服できない。生命はもともと永遠である。 肉体がどういう死に方（飛行機事故・病気等）をしても生命には関係はない。あなたが生命だと実感することで死を克服できる。 身内の者が肉を脱ぐ時に、肉から抜け出て知らせに行くことがある。	
B170	真理は見えない	神は姿形がないから見えない。無形無双。 見えるものと見えないもの、どちらが真実か？真理は見えないから、説明のしようがない。だから例えでしか語れないし、悟るしかない。 この世の言葉では神を説明できない。本質は絶対不動。	
B171	自分を捨てた時 自分を得る	あなたが考えている「あなた」はいない。神のみが独存する。 自分は実在しない。神もいて、人間もいるのではない。 人間は即神、始めから神であった。神我が現れたとき自我は消える。 自分がある限り、神を知らない。欲望・争い・迷妄の中に生きてる。	
B172	何ぜ瞑想は大切か ★	瞑想が何であるか解らなければ、瞑想はできない。 瞑想とは神との一体感、心を内側に向ける訓練。法則そのものになると法悦感を感じる。瞑想中に大いなる自己が小さな自分を見る体験。 どんな時も靈的物差しで物事を判断すること。この世で学んだもの、読んだもの、記憶、全てを放棄しなければ神我に到達できない。	A
B173	祈りとは何か	祈りとは想念。祈りには、神我の祈りと自我の祈りがある。 神我の祈りが真実の祈り。分離感を持った祈りには そう効果はない（空念佛）。他人のために祈るなら、それは自我の祈り。真の祈りとは神の臨在感。全体を受け入れた時、全体の智慧と力が働く。	
B174	天啓	天啓とはインスピレーション。靈より来るもの、御言葉。 あなたの本性・本質から来るもので、外より来るものではない。 小我を通して神我が語った状態を、天啓を受けた者・神懸かり。 天啓を受けて書かれたものは聖書。	
B175	神とは何か	神の他には絶対に何もない。神とは全て、神一元である。 答えは一つ、真理は一つ。全てが神だとはっきり見えるようになる。 神の自覚まで到達すると、この世に悪いことはない。 自分を知ったとき、神を知ることになる。	
B176	平安と不安	真の平安と安らぎは神我にしかない。「私は平安だ、幸せだ」と言うのは自己満足。不安・恐怖があるのは無知だから。 実践行為をしていなければ、聞いて聞かずで解っていない。 「結魂」とは生命が結ばれる、一つであるということ。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B177	天命とは何か	命には誕生もなければ、終わりもない。命は神性エネルギー。 命は無限宇宙に満ち満ちている。天命のみが生き 働く。 地球は神性エネルギーの塊、靈魂。靈=生命・エネルギー。 神のエネルギーとは神靈・聖靈・天命。病とはエネルギー欠乏。	
B178	生命は真理 何ぜ	生命は全存在の本源、全ては無限生命。 形の大小関係なく、生きているのは大生命のみ。 人間から徐々に宇宙意識になるわけではない、始めから宇宙意識。 『持てる者は持たされ、持てない者は持っている物さえも奪われる』。持てる物とは理解能力のこと。	
B179	生命即神 何ぜ	宇宙は御神体、神そのもの。生命は全ての原動力・一切の力・智慧・王。分生命は子羊、大生命は羊飼い。「小さな巨人」と言われた日本から「天照大神」は輝く。もう、そろそろやらないと時は遅し。	
B180	愛は創造の原理何ぜ	愛はそのままにして真理。神は愛である。 靈と水の調和の結果で、物は存在する。色も空も、全て愛。 世の中を変えるには自分を変えること、人は変えられない。 あなたを成長させることができ、周囲を成長させることになる。	
B181	靈魂とは何か	文字を書いたり 読んだり 言ったりするが、意味を知ることが大事。 意味が解らなければオウム返し。靈魂とは靈の塊、形をとった靈。 物質はみんな靈魂。塊はなくなるが靈はなくなる。	
B182	生命線	私達一人一人はみんな生命線を持っている、一つの宇宙生命で繋がっている。個人的生命はない、全体の宇宙生命に必ず繋がっている。 形には寿命がある。生き死には、宇宙の引力に関係がある。 死ぬときは引潮の時、生まれて来るのは満潮の時。	
B183	生命は大我 肉体は小我	実在の自分は生命。小我が自分だと思い、自縛している。 生命をもっと具体的に理解すること。内を見つめたら大きな存在。 肉体は消極・無常、生命は積極・常在・不滅である。 小我ではなく、生命の次元で物を見聞きしていただきたい。	
B184 '2017	生命と形体	生命は表現者、形体は表現。 私に委ねたとき、全てのものから解放される。『いつかあなた方は羊飼いの声を聞くであろう』とは真我の声、声なき声、無言の声。神はあなたの内で命・管理者として養っている。真の学問とは靈的学問。 この世の知識が少なければ少ないと、先入観を持っていない。	
B185 '2017	神とは何か（同時通訳）	実在の自分と存在の自分がある。存在と実在は違うもの。 生命が真理。生命は大宇宙そのもの、小さな生命はない。 外国人に水子の靈が崇らないのは、それを信じていないから。 IAM=キリスト教ではアーメン、インドではアオーム。 ここで話を聞くことも偶然ではなく、皆さんの良いカルマ。	M
B186 '2017	全ては大生命的表現	見える物・形ある物を実在と見て、神我的現れを妨げている。 表現があれば、必ず表現している物がある。表現は変化するが、表現している自分は不動。本物で考えずに偽物で考えるから無知。 目くそが溜まつたまで、正しく人を導くことはできない。	B
B187 '2017	生命は原因の自分 肉体は結果の自分（同時通訳）	原因（実在）と結果（存在）を混同している。見えるものは実在ではなく結果。常に原因を見つめる訓練をしなさい、それは瞑想を通してやって来る。多く神を愛するとは、多く意識すること。寝ても覚めても行う。※皆さんは私の話を今生でだけ聴いているのではない。	B

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B188	汝の信ずるもの表現する ★	信じるものは具現し、現象化する。今、何を信じているか？ 神を信じれば神を、人間を信じれば人間を具現する。 ※イエスの啓示。『汝の信ずる如くなれ』。 疑う = エネルギーがなくなる。良い事は疑わずに信じること、悪い事は疑う。知識を得たなら、それを強い信念・信仰でもって具現する。	
B189	全生命と全能全知	生命は普遍であり無限、久遠常。知恵も力も全宇宙に満ち満ちてい る 無限供給であるが、五感で物を見る上で制限している。 低我である限り、知恵・力は流れない。靈性になって物を見たらどう か？真理は受け入れる能力、信じて受け入れなければ現れない。	
B190	人間とは神の別名	「人間」は神の別名。本名・実相は「神」。 形に名前を付けただけで名前は一つしかない。何せ自分が神なのか、 知らなければならない。神が現れないのは人間だと思っているから。 思いが原因。神だと思わない限り、神は現れない。	
B191	精神統一とは何か	精神統一とは心を一つにすること。宇宙に心は一つしかない。 精神を統一できたなら、普遍我・宇宙我を体験する。 人間は神に似せて造られた=神の表現ができる。人間は万物の靈長。	
B192	神人になる秘訣 ★	皆さんは自我（無知）に素直であり、我神なりに素直ではない。 肉体を造ったのも、中に生きて働いているのも神なら 自分はない。 真の我を強烈に認め始めて、肉我は物質の壁を打ち破る。 多く「我生命なり」を意識すること 認めることが油注ぎ・洗霊。やる 人にすれば簡単。知識は絶頂に來てる、後は認めて臨在させるだけ。	M
B193	真理の実践	真理を学ぶとは己を知ること、神を知ること。 本当の自分に生きることが実践。真理を知らずに実践はできない。 あなたが考えているあなたは実在しない。自分が無いことが『無我』 宇宙に息は一つ。人間は個人の生命だと 溜め息をついている。	
B194	宇宙は神の体	大宇宙そのものが神の体、命そのもの。 一個は全体であり、全体は一個。即ち一つ、全一の 一個。全体が神。 さんは自分の心で様々な物を作り出している、偶像崇拜者。 低我の自分で 物を見たり考えたりするのは制約、有害である。	P
B195	愛は命	愛は全ての全て、全宇宙そのものである。 愛には時空間がない。全てに宿り浸透している、智慧であり力。 愛は吸引力である。愛は建設、不調和は破壊。 我々は分離感・欲望で、愛を破壊的な物に使っている。 神はなぜ健全か、不調和な心がないから。宇宙法則とは愛の法則。	
B196	真理	真理とは神・実在・真実。 言葉の意味が解らなければ、真理を知ったことにはならない。 あなたが真理。真理は知性や理性を超えたもの。古い皮袋（今までの 神に対しての先入観）で私の盃を受けてはならない。	
B197	自己限定は迷い	自我そのものが自己限定。あなたの自由はあなたが奪っている。 永遠なる我がはっきり解ると自己限定はなくなる。 今が永遠だと解るなら、永遠の中に生きる者となる。 この世が本物だと思うから、この世の物に執着する。	M
B198	自他は存在しない	全ては自分だが、形の次元で見てたら他人がいる。 形が生きているのではなく大靈が生きている。肉体と大靈は一体であ りながら独立した存在。外の影響を受けるのは外側を見ているから。 常に内側を見ていれば、外側の影響は受けない。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B199	一元論（悟り）と二元論（迷い）	全てが一つと解れば、一つ目。一元論になれば、全ては完全。 二元論は二つ目、迷った人。悟っている者に内外は存在しない。 私が何ぜそう言うのか？何ぜという思いを起こし自分で答えを出す。 聞くだけでは知識だが、あなたから出たものは永遠に忘れない。	
B200	実在の自分は神 ★	『神を知る前に己自身を知りなさい』。 自分自身を追求していくと神の自覚に到達する。考える人、追求する人になって欲しい。上辺の心で聞いても、上辺の心は三次元だから何の役にも立たない。私は浅い所にいるのでなく、奥底の心にいる。	
B201	肉体は生きていない何ぜ	真のあなたは形ではなくて靈。大靈に素直であれ。 悩み苦しみは肉我で作っているもの、それは実在ではない。 肉我で考えているから忘れる。本心からではなく上辺の心でそう思っているから。靈は原子、質料は電子。元素は神。	K
B202	仮相と実相の識別 ★	識別できていないから仮相に振り回される。仮相を信じるから、仮相に力を与えている。それが自念象・心象。神は完全意識だから完全を見て完全を思わねばならない。深い瞑想状態＝深い理解の状態。 覚者の方は受け入れる能力を持っている者のみを指導する。皆さん方は生まれてから死ぬまで、肉を去っても指導する偉大な守護者が付いている。焦らずに急ぎなさい。（知花先生のこと）	
B203	完全沈黙 ★	聖者は沈黙を守る。沈黙を守ったとき完全となる。 完全とは自己放棄、自我からの解放。沈黙とはあなたが死ぬこと。 自分だというものの、あなたの「我」の死。 大靈と一体になったら自分の意思、考えがなくなる。神のお考えだけが支配して五感の考えはなくなる。それが靈道の開かれた人。起きた状態で神と繋がってる、神意識。そういう状態にまで高めること。	A
B204	神理は永遠	神は説明できないが誤った状態は説明ができる、だから理解するしかない。私の話が非難に聞こえるのは、そのせい。 自分の誤解を解くことが日常生活の靈的修行。あなたの自我意識では正しい判断はできない。神我を前提にしなければならない。	
B205	意識の拡大について	生命＝意識。個人と思うことで生命力を落としている。 生命力を高めるには意識を高めねばならない。小さい者と思えば小さい、大きい者と思えば大きい。意識の拡大は思いの拡大。	
B206	天とは何か 地とは何か	天（原因）、地（結果）。天と地は表裏一体、因果の法則。 結果に目が眩んで、原因を無視して因果の法則を犯している。人間は靈と水の調和で出来る中性子。個人意識は自縛、普遍意識は解脱。	
B207	陰陽の法則は愛	靈と水の愛なくして結果は存在しない。神は愛であるがゆえに完全。 陰陽の調和あるがゆえに活力・力が出る。宇宙フォース（力）。 神は力なりき、フォースそのものが愛。智慧と力は愛から生まれる。	
B208	人間の原点は神	神に帰ることを、原点に帰る。 鉱物・植物・動物は自ら原点に帰れない、人間の進化によって可能。 宇宙＝人。大宇宙は小宇宙から離れて存在できない、全ては共存す。 形を自分だと思うと形の次元で物を見るから、私の話は理解できない。深い瞑想状態に入ると実感として受け止めることができる。	
B209	自分は誰 ★	ただ、ただ認めよ。自分が神である以外にない。そのものだと認めるだけ。神一元、その他には真理はない。あなたは神以外のものを何か探している。あなたは誰、何？あなたがある場合はスモッグがある。あなたが無くなれば、全ての霧が晴れるはず。真の自分の自覚。 幻影をぶち破るには勇気がいる、挫けてはならない。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B210 '2018	悟空とは何か ★	自分が空であると悟ること。 理解力=力の命（みこと）。理解力で自我の岩戸を開ける。 口先だけで「生命」と言っても役に立たない。浅瀬で本物を探そうとしても浅い所に真珠はない。深い信仰で得ることができる。私と何年間、一緒にいても真珠と巡り合う保証はない。怠け者は残らない。	
B211 '2018	昇天とは何か ★	生きているうちに成仏せねばならない。 物質的な意識か 精神的な意識か、今どちらで生きているか？ 多く天を意識する者は、どんどん天に昇って行く。悟りは自己追求によってのみ、物質的思考から精神的物の考え方、精神的な自分に生きる者のみが可能。口うな妻が石になった例え話は、物質的執着の話。	
B212 '2018	言葉は神 ★	言葉とは生命・神。言葉の意味が解れば、神の声を聴ける。 神を自覚した時、あなたの一つ一つの声は天の声・神の声となる。 言葉は天から来るもの、それを理解すると言葉に力が出る。 我々がやってる仕事は何一つない。御業は全て神から来るもの、神は力なりき。『靈服』を着けた者のみが婚靈に招かれる。	
B213 '2018	原因の自分と結果の自分	あなたは原因の自分を見てない、五感の目で本当の自分は見えない。 自分で自分を見たとき『見神』。何に一心集注して決まる。 原因の”精神的物差し”で見れば、全てが神であることが解る。 分離感の考えに、一つも正しいものはない。	B
B214	生命は天 肉は地	「我肉なり」と思っているのを、「我生命なり」に変えるだけ、思い一つ。受容性とは受け入れる能力。あなたの理解力に順応して、受け入れることができる。真理は何回も何回もの繰り返しで成長する。 自分ができない者ならば、できる者以上に努力せねばならない。	A
B215	宇宙創造神	「神」生きるが故に、我々が生きている。 それをはっきり理解して、意識すること。 全ては神の中で物が創造されている、全ては宇宙創造神と一体。 万象万物は神の血縁者・子孫。神は万物のご先祖様。八百万の神。 神は正義、義そのもの。神の国と神の義を求めよ。	B
B216	靈エネルギー	靈界=エネルギー界。エネルギーは宇宙エネルギーで唯一不二の力。 生きているのは物質ではなく、靈（エネルギー）。 物体が自分だと思っていてはエネルギーを得ることはできない。 まだまだ、自分を追求する心が足りていない。 聖書は今まで何回も書き換えられて、誤謬化されている。	
B217	自己実現	自分を知らないままでは再生は免れない。即ち神を知らない。 無知とは知っているものが無いこと。自分を知らなければ罪を犯す。 ここで聖書の話を聞くのは、皆さん自身のカルマ。 あなた方が神を選ぶのではなく、神があなた方を選ぶのである。	
B218	磁場	気とはエネルギーのこと、神は力（エネルギー）なりき。 調和はエネルギーが高い、不調和はエネルギーが低い=磁場が低い。 愛が深いとエネルギーが高い。愛に勝る力、愛に勝る薬はない。 我々の心の磁極が狂うと、地球の磁極も狂う。それが天変地異。 エネルギーは高い所から低い所に流れる。病院・刑務所は低い磁場。	M O
B219	宇宙とは何か	全ては神の中にいる、神には内外はない。 大宇宙で行われていることが、地球上でも、体内でも行われている。 私達の身体で新陳代謝が行われているように、地球惑星では古い人間は死に、新しい人間が生まれてくる。癌とは戦争のようなもの。	J

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B220	完全意識と不完全意識	完全意識は神の意識、不完全意識とは自我のこと。 意識とは創造原理・創造の力・神ご自身。想念は実現の母。意識するとは祈った・願ったことになる。悪いものを意識すれば、それを作り出す。覚者は不完全を意識しない、完全のみを意識している。	
B221	不動心とは何か	人間の心は善悪に揺れ動くので、動搖心。神は絶対善、不動心。 心を一つにしなさいとは絶対善の心・本心だけにしなさいの意味。 自我で見るから悪が出てくる。心にスモッグ・闇を作らないこと。 一心集中を毎日の生活で行うことで、不動心に至る。	
B222	大宇宙は神の体	私達は神の中に生きて、神は私達の中に生きる。 全ては神、全ては自分。私達と神とは不離一体・全一体。 神は現実的・実際的・活動的。私の言葉は肉という三次元から超越している。『声、天より来たれり』それが私の声。	
B223	同胞愛について	全てが一つと解ったとき、同胞を愛さねばならないことが解る。 新しく生まれ変わるには、古いものを捨てる勇気がいる。 迷っている群れの中に住みながら「おかしい、人間とはこういうものではないはず」と思い始めている魂は、相当に熟した魂。	
B224	最高の悟り	悟りとは、神をよく理解すること。 神一元。神を知れば即ち自分を知る、自分を知れば神を知る。 何回もの同じことの繰り返しで、皆さんをそこに導くことができる。 休んでいる時は左鼻から、働いている時は右鼻から息をしている。 瞑想後、完全リラックスしたら両鼻から息をする（プラナー呼吸）。	A N
B225	命は一切の主	命が神であることを忘れてる。肉体は命によって造られた命の表現。 全一の命、命には分離・差別がない。命を知っているなら、この世に不完全性は現わさない。神に到達するには非利己的になること。	M
B226	物質は神	神とは根源エネルギー。エネルギーがなければ物は形をとれない。 物質は靈を宿している。靈的理解力によって高い者となる。 想念が宇宙エネルギーを動かす。ノアの時代に寿命が長かったのは、そういう物の考え方で、想念がそう思っていたから。	
B227	天啓を受けた魂	天啓を受けた魂とは、今即天という境地に到達した者。 天命を全うした者とは「天使」。「使命」とは命に使える、命をよく理解した者のこと。聖書は天啓を受けた者が書いたもの。 山に登るとは真理に対しての理解を現す。天啓を知るためにには何転生もしなくてはならないが、道案内人がいないと理解ができない。	M
B228	自分は一体何なのか	自分で自分を考えたことはあるか？追求したことはあるか。 答えるだけでなくて、答えたそのものにならなくてはいけない。 そのものとしての生き方をせねばならない。靈的な物を追求していく、この世の仕事を無視するようであれば、その人はアンバランス。	
B229	神我は自力 自我は他力	肉体は他力。人間は生きていない、生かされているもの。 靈は自力。靈力と言って肉体を生かしているもの。肉体は他力だから他力本願をする。靈的なものは助けたいという思いがある。 神我は与えることを喜び、自我は得ることを喜ぶ。靈服とは光子体。	
B230	信仰について	信仰とは信ずること。信じたものに魂の扉（心の扉）が開かれる。 神の信仰とは神に心を全開し、完全なる愛と慈悲の信仰。それは神の影響を受ける白魔術。災いを信ずるのは、惡の影響を受ける黒魔術。正しい信仰によって救われる。信仰とは力そのもの。	
B231	人と神とは同じもの	形を見れば人間だが、本質は神である。神のみが実在する。 真実は一つしかない、神一元。人間だと思っていては神になれない、始めから神であった。必要なのは「我神なり」の自覚。 世の中はもうやがて、知る人・知らざる人に分けられる。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B232	靈的食物と物的食物	靈的なものは魂を養い、口から入るものは肉体を養う。 内を意識することで魂は成長する。生命のパンは永遠なる食物。 「私を食する」とは意識すること。常に靈的なものを摂取することが大切である。多く意識し続けることによって、変性変容が起こる。	
B233	原点とは何か	原点とは実在・天。接点で目隠しされて、原点を見失っている。 実在しているものは何か？この識別が大切。「半分悟っている」そのような中間の悟りはない。悟りか、迷いかのどちらかしかない。 皆さんが成長しているかどうか、今後も試していく。試されて敗北するか、打ち勝つか。試されないように気を付けていただきたい。	N
B234	意識＝魂	意識の拡大＝魂の拡大。もともと魂は宇宙大である。 様々な肉体衣装を付けてるが、中身は同じ生命が宿っている。あなたと私は洋服の着け方が違うだけ。全一体感になると、私のことを誰が呼んでも、私はそこにいる。普遍意識になると時空間・距離はない。	
B235	運命とは何か	想念が命を動かす。命は力・生命エネルギー。 想念のコントロールで運命は変わる。毎日が命の運びで、運命を築いている。あなたの想念の結果が、あなたの今の環境。ただし、過去のカルマによって 想念に反するものが現れて来る場合もある。	D
B236 '2019	キリスト	キリストが何か解らないから、キリストを教える会になっていない。 キリストとは生命・聖霊のこと。生命や神我を教えることが伝道。 全てと一つになるまで、キリストは皆さんの中に留まる。 エリヤは預言、モーゼは奇跡、キリストは『愛光』を象徴とする。 私達の中に、全世界を照らす無限光が存在している。	O
B237 '2019	キリストとは何か	キリストとは大生命・神我。受け入れると永遠に生きる者となる。 キリスト＝キリシタル＝クリスタル＝イズラエル＝水と光との調和。 生命のパンを受け入れるとは大生命（キリスト）を受け入れること。 満足とは、神を受け入れた時に満たされること。即ち水晶人間。	
B238	見える物は見えない物の表現	人間には見える自分（変化の自分）と見えない自分（不動の自分）がある。見える世界は万変万化の世界で実在ではない。 真実の自分は肉を生動している自分。息をしている、働いているのは見えないあなた。※オーバーシャドウによる講話。	
B239	神は偉大な僕	僕＝能動原理、私＝受動的。神我は男性原理、僕（ぼく・しもべ）である。神は偉大な無限エネルギーであり、全智全能であられる。 『世の塩となりなさい』＝世の役立つ者となりなさいという意味。 塩は中和剤、肉体を使って神に存分に働いてもらわねばならない。	
B240	一心集中	瞑想は神への一心集中、雑念の無い状態。神以外に絶対に何もない。 思いや考えを完全に神が支配して、そこまで一心集中しないと実在界に入ったとは言えない。完全に何を見ても神と見える自分。 もう少し理解力が強くなれば、無我夢中になれる。	A
B241	息即波動 波動即息	息は宇宙のリズム・バイブルーション・神の波動。 靈性になると息は整う。悪想念で息は乱れる。波動が悪いと息は悪い。音楽が良いと言われるのはバイブルーションを清めるから。 神の音楽からすれば、この世の人間の音楽は粗雑。	
B242	祈りとは何か	祈りとは意識すること、思いは祈り。 祈ってる方と祈られてる方は一者。我々は造られた物であり 造り主。健康を祈りたいなら健康を意識すること、病気を認めず意識しない。 意識は生命、意識しないではいられない。今何を意識しているか？	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B243	神は全ての管理者	今、一瞬一瞬の中に神は働いている。肉体を造ったのも 全細胞・内臓器官を管理しているのも神。神が生き働いているなら 恐怖があるか、年を取るか、病気になるか？ 神である命に全てを捧げたらどうか。この世に生まれて來るのも 去るのも、神の御意志。	J
B244	全我とは何か	生命を自分として見たら、無碍自在・観自在。 生命の次元でなく、自我の次元で物を見るから不調和がある。 愛は完全。神は不完全を造っていない、完全を与えている。 あなたが大生命なら、全ては自分、至る所に存在している。 普遍意識・宇宙意識そのものがアカシックレコード。	
B245	生命は一にして多身 ★	生命は誰 彼の生命ではない。 たった一つの命が全体に宿っている、それが全力。一なる生命。 宇宙にエネルギーは一つしかない。生命に時空間はない。 エネルギーそのものならば、与えることはあっても貰うことはない。	B O
B246	聖火は生命 ★	仮性・神性=神性火花・聖火・不滅の生命。 イエスは聖なる火を燃やし続けて、粗雑な肉体・闇の原子を光の原子に変容させた。神性火花を強烈にするには、自分が生命であると意識し続けること。四六時中思い続ける、常に内観・瞑想する。 それが油注ぎ。火の洗霊は、あなた自身が受けさせる。	
B247	先入観を捨てなさい	先入観とは自我のこと。自分が人間だという「先入観」がある。 その先入観・自分を捨てた時、真実を得る。 パンの本質は小麦粉である、クッキーもパンも小麦粉の仮の姿。 全ての実体・本質を見なければならない。大靈こそ絶対実在という、靈的自覺が確立したとき、外側に対しての先入観はない。	
B248	外に神を求めるなけれ ★	智慧も力も内から来るもの。直接、直感であって間接ではない。 直接生かされている。神は声なき声として、思いとして語る。 今 皆さんは外に神を求め過ぎている。私から得ているものは知識であり、智慧を掘り出すショベルのようなもの。自分が全智であり、全能であり、全生命であると認め切れない人が多い。	(A) K N O
B249	聖靈が下る ★	聖靈が下るとは神が下ること、如来。神我顯現とは聖靈の顯現。 肉体という繭を食い破り登仙する。力がない者は繭から出て来ない。 これ以上知るものはない、これ以上教えるものはない。後はあなたの理解力と認識だけ。理解ができるなら、自覺を高めるだけ。	A M
B250	普遍意識	普遍意識を理解しなければ、何も始まらない。 我々が大生命・宇宙生命ならば、我々が全ての物を造っている。 大生命に到達したならば「全ては私」と言う。 あなたは私の中に居り、私はあなたのの中に居る。普遍意識をはっきり意識的に見ること 感じることができなければ、現れることもない。	
B251	大靈とは何か	大靈を意識的に実感できる、深い瞑想状態に入るべき。 それを受け入れたら外から学ぶものは一つもない。その時、目明き・靈眼が開かれる。宇宙に力は一つ、破壊的に使うか建設的に使うか。ここまでようやく連れて来た、今から落ちないように。もう来るなど言われても来るくらいの真剣味が必要。強い信念であって欲しい。	
B252	真の自己は宇宙エネルギー	エネルギーは区切られていない、無限で全宇宙に遍満している。 それが実相であり実体。知識的にではなくて、はっきり理解できて常に宇宙意識だと思っている人は、宇宙エネルギーが着座している。 真理は宇宙に一つ、答えは宇宙に一つしかない。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B253	神の心 人の心	心=意識=想念。個人意識はない、個人的心はないのに、宇宙大の心を勝手に個人意識にしている。瞑想するとは神意識になること。あなたが個人意識になっている時は人の心、普遍意識になっている時は神の心。神の心は無苦。全体の意識だと思う心が全体の力を得る。	A
B254	宇宙神とは何か	宇宙そのものが神、私達は神の一部であると同時に全体。一部は即全体、全き神。一つ一つが構成する同胞団、一体関係。全ての物は神から離れて存在できない。あなた方はコスモ細胞・神の細胞である。一部のことを個我、全体のことを全我・神我と言う。	
B255	個人の本質は即無限 何ぜ	正しく思うとは、『私は無限なり』であって個人ではない。私は個人と言うのは自己催眠にかかっている、自己暗示。ここで何万回話を聞いても個人だ、人間だと思っていては何の効果もない。無限の宣言が、キリストの大宣言。	
B256	全ての本質は神	全ては神から派生して神に帰るようになっている。自分が出てきた所が解るならば、帰る所が解る。原点に帰ることは昇天・成仏。自分という者の自覚が足りない。瞑想を通して天に入る訓練をせねばならない。皆さんは努力が足りない。	M
B257	眠れる魂と目覚めし魂	肉体を自分と思っているのは眠った魂。目覚めよとは魂が何であるか知ること。外念で色々作り出したものは夢・現象で実在ではない。深い瞑想状態とは、普遍意識状態で覚めた状態のこと。不動心とは常に大きな意識状態でいること。常に大きい自分を持ってきて、小さな自分の無い状態を作り出さねばならない。	
B258	神理は汝の内にあり ★	神理とは天・原因で、自我は結果。瞑想は原因追求。原因追求をしながら「結果が現れない」と結果を追求する者がいる。そうなると自我瞑想になる。結果を求める瞑想なら結果追求になってしまい苦しむ。結果は原因の後について来るもの。	A (A)
B259	大我と小我是一体 ★	外を見れば小さいが、内を見れば大きなもの。小さな我に生きれば無知無力、大きな我に生きれば普遍的力を得る。私は宇宙と言ひながら肉に生きてる者もいる。知識でなく心で為す。強い信念を持つと、その強さで現れて来る。四六時中 憶念し、内觀する。永遠の中に生きないから焦りがある。今皆さんは覗き見状態。	
B260 '2020	想念とは何か ★	想念は思い、原因。形はないが物を具現する。この世は映し、結果。今自分が何と思っているかで決まる。想念（シナリオ）の表現体として肉体は存在する。人間と思っていては人間以上のものになれない。人の心は偽心で、本心は神の心。偽心があれば本心は現れない。	D
B261 '2020	時空意識の克服 ♦	※A268参照	
B262 '2020	靈的結婚と肉的結婚の識別 ♦	※A269参照	
B263 '2020	眞の結婚とは何か ♦	※A270参照	
B264 '2020	生命は天照大神 ♦	※A271参照	
B265 '2020	人間の本質は靈と水 何ぜ ♦	※A272参照	
B266	解脱とは何か	解脱とは解いて脱ける、理解して脱ける。結果から脱けること。神を見るとは原因を見ること。肉の目では結果しか見えない。心の目では原因が見える、心では原因も結果も見える。心の目で見れるように訓練・鍛錬せねばならない。地球が崩壊したとしても、それはドラマの崩壊であり、原因は崩壊しない。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B267	大靈意識は解脱 肉意識は自縛	自分は大靈なり。それを知らないと、どうすることもできない。 肉我で終わるか、解脱するか。最後の段階に入っている。 「主よ！」と大声で呼ぶ者は分離感である。遠くに神はいるのか、 我が内か？黙っていても解る、自分自身だから。これが沈黙の祈り。 人間だと思う時間が長ければ、そちらに引っ張られる。	J
B268	外界は内界の反映にすぎず	肉の目で見ているものは映し・影・幻。空が色を映し出している。 エネルギーと質料の世界は内界、形の世界は外界。 本当は一なるものしかない、一元論。 $1 + 1 = 2$ でなく $1 + 1 = 1$ 。 足さなかったら 2 だが、足したら 1 にしかならない。 一つ目とは 2 つがないことを見れた人。	
B269	善とは何か 悪とは何か	人間は善惡の中に浸かっている。神は絶対善。神我であるには絶対善 であり通すこと。神という神我が、惡という自我の衣装を着けてる。 内側を常に見つめていると 悪は出ることがない。一つ目にならないと 善はできない。真の宗教は宇宙的なもの、神は大宇宙。	O
B270	全ては神の化身	神の化身でない物はない。唯一の生命が様々な姿形をとって存在して いる。内側を見ると全ては命、生命一元。 全てに神を見ることができて、全ては一つの現れだと自覚ができた 時、一つ目になる。生命こそ絶対なるもの、絶対真理・根源神。	
B271	神は大調和 何ぜ ★	生命エネルギーと質料が調和されてなければ物は存在できない。 愛しなさいとは形の世界の愛のことではない。神の愛は万物の具現、 本源本質の愛、全てである。私達はそのままにして愛。 一番身近な隣人とは生命。現実の自分（肉体ー）と真実（生命+）の 自分を調和したとき完全になる。宇宙の法則は愛の法則。 ピラミッドは物質化された聖書。	
B272	人間は神の分身分靈 何ぜ	水は母なる神・産土の神・竜宮の神。それによって造られたものが、 分身。父なる神がこれに宿っている、即ち分靈。靈がなくても水がな くとも皆さんは存在できない。人間は神の化身、愛の化身。 愛は得るべきものではなく与えるべきもの。愛する人になりなさい。	
B273	意識の拡大	意識が何か解らなければ 拡大は不可能。意識の拡大=生命の拡大。 個人を意識している意識も、全体を意識している意識も 同一の意識。 自分が大生命そのものと見たり思ったりできる人は 意識の拡大された 人。小乗佛教は自我佛教、大乗佛教は神我（真我）佛教。	
B274	憶念と外念	念力とは、力（エネルギー）は念であるということ。 憶念=内観・瞑想・神我。外念=外観・雑念・自我。私達は五感に 頼って生きている。内観すると生命一元の世界。内を見れば全ては 神、人間は生命の結果。生命で見れば単数、外念で見れば複数。	
B275	実相世界とは何か 仮相世界とは何か	我々は仮相を愛して実相を無視している。仮相を本物と思うから影響 を受ける。真我はこの世の何の影響も受けない。悩み苦しみは迷妄。 内なる力を得るためにには常に憶念・内観すること。多く見つめれば見 つめるほど神我は活発化する。どちらを選ぶかは自己選択。	O
B276	実在界と非実在界	真理は見えない、見えるものは影幻。肉体は見えないものの表現。 真実の自分は大生命・大靈。結果の次元でしか物を見聞きしてない が、そこから原因を見出すことは不可能。本物が現れれば、偽の状態 は消える。自分が神だと思うのも、思わないのも自由意志。	N
B277	靈は光の自分 肉体は陰の自分 何ぜ	靈と肉体（陰陽の法則）は光と影の法則。 物質面（-）に偏ってはならない。靈（+）を見てる時は光明思念。 今必要とするのは世の闇ではなく、世の光。物質の話は闇の話で、闇 の話から光は得られない。物質という闇と、靈という光の戦いは自分 との戦い。光に満たされたとき、イルミネーション。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B278	原因と結果は一体 ★	原因が神であるなら、その結果も神でなければならない。 もし原因を認めていたら結果も完全になるはず。 小さな自分を感じながら、大きな物を入れようとするから入らない。 一升の酒を一合の杯に入れるようなもの。大我を受け入れる為には、 大きな器・普遍なるものを持って来なければならない。	
B279	大靈は本物の自分 肉体は偽物の自分	肉を我として生きる人は陰気な人、靈を我とする人は陽気な人。 肉的我は見ることも触ることもできるが、靈的我は無形無双である。 惡靈とは悪いエネルギー、善靈は良いエネルギー。あなたは光輝く 靈、形は母なる神の分身。靈的光を認めると七色のチャクラが開く。	0
B280	愛は永遠なり	愛は普遍にして不動、久遠常在。神の愛は全宇宙を抱擁し、遍満して いる。無限の生命エネルギー（本源）と質料（本質）が調和されて、 物は存在している。無限大の愛があるだけ、個人的愛はない。 人間の考える愛は盲愛、結果次元の愛。宇宙には愛の法則しかない。	J
B281	生命は永遠の自分 肉体は無常の自分	生命は永久運動、病氣も死にも生まれもしない。肉体は永遠ではなく 寿命がある。一番最大の敵は自分。今自分に負けている、自負心がある。 自分に打ち勝つと、自分がなくなり『無私』となる。 生命は王の中の王・『大王』。一切の支配者。その子は王子様。 生命意識になると肉体細胞から光を放ち、暗闇でも電気がいらない。	
B282	無形は無限 有形は有限（誘導瞑想）	神は無限であり、見えないものに形はない。神は無形無双。 生命には形がない、無限生命。形のない有限というのではない。 無限大の生命の中に形体は存在する。無限は計り知れないほど大きい もの。見えないものは例えでしか示せない。本来は認めるのに一年も かかるないが、真剣にやらないから時間がかかっている。	
B283	完全とは何か	完全とは無欠、絶対調和・絶対愛のこと。 私達はもともと完全だが、自由意思で不完全（罪）を自ら作り出して しまった。宇宙にはたった一つの法則、愛と調和しかない。 自我人間に愛だ、調和だと言っても無理な話。真理を知らないで、人 を愛することはできない。地上界は完全になるためのレッスンの場。 毎日が修行、悪に抗するなれ。	J N
B284	天とは何か 地とは何か（誘導瞑想）	本来は天しかない。天とは見えないもの、地とは見えるもの。 天と地は同じもの。本来のあなたは一個の人間ではなくて、大気。 見えるものと見えないものは繋がっている、一つ。 唯一の使命とは悟ることで、自我でゴチャゴチャやることではない。 献身的になると傲慢さを失う。99.999%までが仮相信者。	
B285	生命は無限 ★	無限とは無次元。限りない、境界線がない。宇宙は区切られてない。 形を見て個人という境界線を作り、生命を制限・束縛・限定してい る。境界線は自我にある。真の自由を理解しない限り、不自由。 宇宙生命を受け入れた瞬間、全身に新鮮な空気が入るようなもの。 今の一瞬の中に過去・現在・未来はある、ただ一点の時間がある。	
B286	大気は神我 肉は偽我何ぜ	大気のみが生きて、大気のみが働く。大気の他には何もない。 ほとんどの人は固体・肉体を自分と信じている。固体觀念は雑念。 私は大気なりと言った瞬間、真実を語っている。波動は上がる。 私は固体なりと言った瞬間、嘘をついてる。波動は落ちる。 皆さんは今、迷いの境地に到達している。固体は浮世・俗世。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B287	全ては神 (神一元) ★	何ぞ神の他に何もないのか？認知すること。 話を聞いても本当にそうだと思わない限り、偉大な力は現れない。 知識の段階ではまだ解ってない。神への絶対なる信仰は真の平安。 神の思いは積極的思い、神でないと思っていたら消極的で現れない。 絶対なる神一元論で通せるか。あなたを養い管理してるのは神。 解脱とは全ての学問が学び終わった人。	D O
B288 '2021	解脱とは何か ◆	※A296参照	
B289 '2021	仏陀とは何か ◆	※A297参照	
B290 '2021	求めよさらば与えられん ◆	※A298参照	
B291 '2021	悟り ◆	※A299参照	
B292	波動 ★	波動とは波の動き。科学的にはヘルツ (Hz) 、サイクルと言う。 高くなると（高周波・高分子）物は見えない。低くすると（低周波・ 低分子）物は見える。靈が見えないのは高周波数だから。靈的自覚が できると高周波となる。物を進化させるとは高分子にすること。	F J K
B293	人間即神 何ぜ	この世の中に神でないものは一物もない。全て神、神一元。 エネルギーと質料が様々な形を投影・投射しているだけ。 目の見える人は本源本質を自分と見る。目の見えない人は見ている物 が何であるかを見てないから見て見ず、見たことにならない。 真理は肯定論、始めから神である。『我神なり』という肯定。	B
B294	靈はエネルギーの自分 肉体は物的自分 何ぜ	物質性から靈性に変性すると、宇宙エネルギーに満たされる。 愛の人は光人間。不調和人間は歩くたびに闇をばら撒いている。 二千年前にイエスの話を聴いて理解した者はたったの数名。イエスは 33歳でこの世を去り、復活後シリアに渡って85歳まで法を説いた。	
B295	微生物と人間 ◆	※A303参照	
B296	愛は全存在の本源にして本質 ★	本源と本質の調和で物は存在する。愛こそ絶対実在・絶対真理。全て が愛の具現。愛に反することは罪。完全である為には愛であること。 人気は無くなるけれど、大気は無くならない。何を見ても愛と見れる ように訓練をする。形で対処するのではなく、愛でもって対処せよ。 瞑想を通して、愛そのものだと実感するのが悟り。	J M
B297	キリストの伝導	キリストの道を伝えるにはキリスト（神我）が解らねばならない。 伝導とは内在の自己に生きること。三次元的な自我の実践ではない。 内在の神我を意識してはキリストを伝導している。それが愛・光 の実践である。一心集中して意識する力の強い人は、強い光を放つ。	A O
B298	原点と観点	原点は見えないもの（神）、観点は見えるもの（人間）。 観念とは自我の念・見ての念。原点は一つで、他人がいないから意見 の対立がない。観点は様々あるから、物の見方・考え方方が皆違う。 私から聴く話（靈的知識）は、内なる智慧を掘り出すための道具。	
B299	靈とは何か 物質とは何か	物質は、必ず靈というエネルギーを潜在している。 物質面だけを見て、靈的自分を見ていない。光と闇は同居できない。 類は類を呼ぶ。光の中に住むには光そのものにならねばならない。 靈肉のバランスがとれたとき、自ずとチャクラは開く。 7つの光に満たされたとき、7つの祝福を受ける。オーラとは後光。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B300	気体 液体 個体は三位一体	気体・液体・個体、物理的には知っているが原理は知らない。 私達は固い物だと固定観念を持っている。昇天とは氣化されたもの。 物質の本質は靈気。気の低い人は肉体に固守する。貪欲とは物欲。 鼻と口を押さえて何が欲しいか?それくらい真剣に真理を求めるこ と。あなたの意識が上がると高次元の指導を受けられる。	C O
B301	靈は実相の自分 物質は仮相の自分 何ぜ	愚か者は物質を崇拝し、賢明な者は靈を崇拝する。 一つの大靈が全てに宿っている。全てに大靈を見て、全てに大靈を感 じなければならない。見えないものは『ハイアービジョン』。 一度聞いた話は潜在意識にインプットされる。	P
B302	一つ目とは何か 二つ目とは何か	分離感は二つ目。形という側面を見て、本質を見逃している。 形は本質から離れることはできない。形もあって、本質もあるのでは ない。神一元あるのみ。真理は一つしかない。 心を一つにしなさいとは宇宙の絶対なる実在を凝視、見つめること。	
B303	天とは何か 地とは何か	天と地の識別をする。天は命でエネルギー、神の臨在感はエネルギー の臨在感。物質が好きとは女(色)が好き。色情・物欲。 光なくして影は存在できない。光は守護神・守護靈・背後靈。 物質的な話しをする人と靈的な話しをする人、二つに分かれる。	N O
B304	靈は光の自分 肉体は影の自分 何ぜ	影の自分を見て、光の自分を見ていない。それは金剛不壞の光。 光明思念(明想) × 閻思念(幻想)の戦い。『子供が光を欲するのに 闇が与えられるか、闇を欲するのに光が与えられるか』。 私は農夫のようなもの。地球上に撒かれた光の種に水や肥料をあげて 毎日刺激しているが、今生どのくらいが目覚めるかのチャンス。	
B305	大愛は実相の自分 人間は仮相の自分 何ぜ	人間(形)は愛から1秒間も離れて存在できない。誰彼の愛はない。 無限大の愛、全一の愛。大愛は神我。全てが愛でなければ、無限では ない。愛不滅の法則。潮の満ち引きは月(陰力・引力)に関係する。 太陽という光は(陽力・放射)に反応する。揚力と抗力のバランス。	
B306	天とは何か 地とは何か	本質が形を造る。本質(天)と、形(地)は一体。 あなたは形に属するものではなく本質に属するもの。本質という天か ら出てきて本質という天に帰る。自分を形と思うと本質を閉ざす。 今からは一つになる時代。個人というのは大いなる錯覚。	O
B307	天地一体世界の実現	経営者への講話。先生の生い立ちから、ボリビア・インドでの体験。 アカシックレコードは皆さんの中に存在する意識、全てが記憶されて いる。先見の目とは現れる前から原因次元で見聞きする人、予言者。 個人意識→宇宙意識へ意識革命を起こさない限り、革命は不可能。	K
B308	大愛は神我 人間は自我 何ぜ	気体が固体になっても固体になるわけではない、気体そのもの。 物体は嘘、大靈は真実。靈的事実。神我到達とは靈的自覚のこと。 人間と思うか、大靈と思うかだけ。今は無意識のうちにも人間と思っ ている。肉体の影響を受けるのは肉体を自分だと思っているから。	
B309	生命と人間	生命は原因、肉体は結果。姿形は肉体ではなく生命体。 あなた自身が原因・結果の法則、陰陽の法則そのもの。 生命は能動、肉体は受動。神我は与える喜び、自我は貰う喜び。 男性(能動)は愛したい、女性(受動)は愛されたい。二つで中性。	
B310	本質は実相世界 形は仮相世界 何ぜ (誘導瞑想)	形の自分を自分と見ているのが大半で、ほぼ100%仮相を見ている。 無限とは限界が無いと書いて、無形という意味。有形ならば有限。 全てを見通す力とは、全てを我だと見通さねばならない。 私が普遍的本質そのものになれば、誰が私の悪口を言ってるか解る。	N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B311	宇宙生命とは何か	宇宙は分離や区切りのない、全一の生命である。 空は気、息を吸うとはエネルギーを吸うこと。宇宙エネルギーを本心（真心）から受け入れた時、無限の智慧と力が流れる放射体となる。 あなたが宇宙生命に目覚めると、細胞も宇宙生命に目覚める。	A
B312	微生物とは何か	微生物には想像を絶する種類がいる。この宇宙は微生物の世界。 中気性（中性菌）は嫌気性と好気性の中間・バランス・愛。 我々の体は、嫌気性と好気性のバランスで存在している。 作物は根っこを切ると好気性菌・酸素を吸収できないので腐る。 腐植土の中には嫌気性の菌が多くいる。これを土壌菌と言う。	J
B313	天とは何か 地とは何か (誘導瞑想)	天は見えない物、地は見える物。気体と固体の関係。 見えない物は全ての原点。瞑想とは無視の境地、不可視の境地。 飛行機のプロペラと同じでバイブレーションの高いものは見えない。 見えない物は無重力、細胞が精妙化されると体の重さを感じない。	A O
B314 '2022	愛は天と地の架け橋 ★	愛である時、あなたのうちに神がおられる。心が調和されて天と地の架け橋・神との絆が出来る。愛のない時は愛のグループに交るのが怖い、闇が光に入ると消滅するので嫌がる。天上界は愛の王国、私達もそこに入る訓練をする。愛であれば智慧と力に満たされる。全ての物と調和を保つのが唯一の修行。一番大事なのは愛の実践。現象的な物全て放棄しなさい。——イエス、覚者方のオーバーシャドウ——	D O
B315 '2022	密室の祈り ★	密室とは靈の世界。大靈そのものに成り切って 祈る。 五感の感化からの解放が完全沈黙（完全瞑想）。神我意識で語り思うと全て成就する、それが創造原理。皆さんは祈り（瞑想）の修行中、天国に入る訓練。今まで秘められたもの、密義・秘密が明かされる。 私が皆さんを大靈として見ている時、皆さんは祝福を受けている。 密室・神の国に出入りできる方が10名位 出来ると全世界は救われる。	
B316 '2022	瞑想について ★	瞑想とは何か？神我との一体感とはどういう状態か。瞑想とは沈黙。今まで感じていた自分を感じてない状態。自分を感じたら沈黙しない。自分が消え去り、全て消え去って 神我一体感。靈一元の世界を体験する。無限の広がり・無限の空間があるのみ。宇宙即吾の境地。一番深い瞑想状態は昏睡状態。寝てる時は自分や周囲を感じない、眞の出家。それを可能にした者のみ解脱・昇天、神の世界に没入する。	A O
B317 '2022	愛と許しは自分を救う ★	人を愛さないとは自分を愛さないこと、人を許さないとは自分を憎むこと。愛の思いは調和のとれた建設的・神性エネルギー。怒りは体内に猛毒を発生する。許しと愛は神の御心、裁きや憎しみは悪魔の心。愛があれば敵がない、恐れがない。ペテロが何回まで許せばいいかと聞いたら、イエスは『7回の70倍、許しなさい』それは永遠の許し。	J O
B318 '2022	天上界（ハイアラーキー） ★	内なる生命の自分は天上界。ハイアラーキーの方々は非利己的。イエスは「私と12の弟子は上から 天上界から来た者」と言った。もし今イエスや釈迦が再臨したら、一番石を投げるのはキリスト教や仏教徒だろう。皆さんは幻・魔物に取り憑かれている。 無知な人は自分を知らない、自分を無知だと思わない。オームとはIAM、私は真理である。ゆっくり学べるあなた方は恵まれている。	
B319 '2022	真の瞑想 ★	瞑想はただ座って眠ってればいいのではない。神を意識する、愛する時間に使う。忍耐強く意識すると、ハートに神が定着・着座する。私の一細胞の真我は私。真我は地球→太陽系→銀河系へと広がる。総計された大宇宙という絶対なる神我へ意識を高揚せしめる。全ての全てを総計したものが神。無限の進化で、普遍的なものに没入する。	A

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B320	小さな死 夢について ★	この世は魂の修行・勉強の場。金儲けではなく魂の向上・愛と調和の顯現の為にある。寝てる間は想念体の次元に帰るが、朝起きにくい人は学校に行きたくない人。毎晩小さな死を味わう。皆 悟りを約束して生まれてくるが、五官的欲望を丸出しでカルマの上塗りをして帰る。水心はどんな器にも調和する。指導靈・守護神は常に導いている。	O
B321	人間の価値観について ★	価値ある人間になる為、長い転生輪廻を繰り返して修行している。ここにいる方々は、ある程度の体験を通して修行を終えられた方々。靈的価値観・物的価値観、ともに備わっているのが『徳ある人間』。日本は靈的五大国。3千年前に日本列島を築いた覚者方が、今総動員で降りて来ている。私も沖縄で法を説き、その話を聞いた方もいる。	N O
B322	自分 ★	自分で自分を『神である』と断言することを、何せ怖がるのか？世界中があなたに反対しようが人の意見で曲げてはならない。夢の中でも真理を語り、真理の夢を見る人は靈的に根付いた方。見える物の価値観が物質の壁、その背後にある物を見つめる。「皆さん一人一人の心に神はおられる」沖縄の指導者の名言。	O
B323	人間の生まれた目的について ★	魂の汚れ・欠点を取り除くため生まれてくるが、ゴミをつけて帰る者もいる。思いは半々、自我からのものと靈界からのものがある。生まれてきた目的は何%神我を表現できたか、死ぬと幽界行きか地獄行きかの靈的評価がある。天照大神も聖徳太子も肉を持った覚者方。自分の肉体を神にお任せして奉仕するのが伝導瞑想、動機は奉仕。	A N O
B324	肉体創造の目的	肉体が造られた目的を果たしているか。肉体は肉のお母さんの働きではなく神が造った物。自己欲望に生きて目的に反すると病気や苦しみとなる。あなたの力・命はない。大靈に委ねて「貴神の御心が行われますように」と毎朝祈り、生活をする。大靈を現すのが目的。天の水と地の水、即ち見えない水と見える水で形体は造られる。水の質料は母なる神、靈的質料は父なる神。	O
B325	靈的修行と実践	見える物への執着心からの解放。我靈なりと意識すること。所有欲が執着であり欲望、それがトラブルの原因となる。欲望がなくなれば悩み苦しみはなくなる。戦争も執着心から起ころ。無執着になると全ての物は神の物となり、失う物がない。地上界は靈修行の場。大学受験のように真剣にやる者のみ進化する。	O
B326	覚者方	覚者を特別な存在と思っているが、自分が靈であると自覚めた方々。何も変わらない。全ての全てが神であると心の底から思えたら、あなたも覚者方。長い習慣性で人間と神は別という外念を持っている。大靈への一心集中で不可視の世界を体験する。色々の靈的体験をしそこに覚者方がおられる。彼らとバイブルーションが同調する高さになると、神我を通して援護を受けて保護される。	O
B327	自分の肉体を靈化するには	外に反応する限り粗雑な肉体。内なる靈に反応すると精妙体になる、聖化された者。内なる物を自覚すると靈的自分が現れてくる。外なる粗雑な波動を持つては有害。内より語られる言葉は人を清める。外側を見れば色と形を見る、靈的見方とは背後の働きを見る。内なる物に反応する人が触るとエネルギーは充電される。外なる物に反応するほど病弱になっていく。	
B328	チャクラについて ★	意識が低くチャクラを弄ぶのは危険。一番低いチャクラは動物本能。丹田が活発化してるとパワーがある。クンダラニから脊髄を上り頂点へ至るが、本来は意識の発達と共に自然に開発されるもの。地上界から幽界へ7段階ある。これを回るのを輪廻、克服して七天へ入る。	N

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B329	生命は七色 ★	7つの靈的中枢。7つの光線。聖数・虹色。7つのホルモン分泌で樹液・精液が循環する。七色が完全調和すると白光、水晶人間。人間の原初体は水晶の如く。イエスキリストやお釈迦様は七天の住者。愛はミカエル。ここにいる方は第四段階までできている。感情的な人は鳩尾センター。パワー・腕力は太陽神経叢。性欲・情欲は性腺。	N
B330	チャクラの開発	肉体は7つのホルモン剤が分泌される。頂点、眉間、甲状腺、ハートセンター、お臍、太陽神経叢、尾てい骨。7つが開発して活発化していれば病気にならない。チャクラの開発は愛と調和で為すもの。靈太陽からの7つの生命光線で生かされてる。チャクラの色、感情は赤、情欲はピンク、胸元は黄金、智慧は紫。白と黒は純白、中間を現す。7つ開発されると白光。幽界も7段階、超越すると神界。	J N
B331	靈界通信 ★	あの世も、この世も意識状態があるだけ。 誰でも寝てる時はあの世にいる。表面意識からの解放、小さな死。 死とは祝福、魂の解放、鳥かごから出るようなもの。 誰でも通信は出来る。沖縄のユタは粗雑な靈、私は靈界から受ける。 心・意識の状態をどこに向けるかで決まる。靈媒体質の人は感情的で幽界から影響を受ける。本来は内なる神我から受けるべき。	N
B332	吾即宇宙生命 ★	肉体形体を造ったのは宇宙生命・宇宙創造神。造られた物と造り主は一体、皆さん一人一人は神々。イエスとお釈迦様の御言葉を世に示して、預言を成就する。ミロクの世とは神我が如来する。「私は盗人の如くやって来る」もうスタートを切っている。はっきり自覚して伝導していく。私は聖書を成就しに来たもの、あなた方もその一員。	
B333	意識の向け方	どこの方向に意識を向けているか。物質的な物に向けてるのが99.999%、靈的に向けてるのは意識の高い人。完全にネガティブになり靈的な物を嫌う人もいる。皆さんは瞑想を通して本質を学び、下に向いてた意識が上に向かつてある。これから上と下に完全に分かれる。環境はあなたの意識の現れ。高い物を理想・理念として創造すべき。	M N
B334	意志	意志とは思い。自由意志とは自由に物を考えること。 神の意志とは神の考え。内から來るものは正想念、自我から來るのは悪想念。肉体は思いの道具。意志が定まらない人はコロコロ変わる。人の考えに操られるのは意志薄弱。意志の強い人は考えを曲げない。神の想念と私達の想念が一致するように正す、意志のコントロールは欠かせない。ここは自力だから人は集まらない。	D O
B335	気の高め方 ★	病気とは気の落ちた状態、元気は気の元・エネルギー。高我に目覚めると気は高くなる。エネルギー×質料のバランスは健康、分離すると死。実験中に歯車で指が取れたが、くっつけたら付いた。怪我したと思ってないから痛くない。生老病死は幻だと24歳の時に開悟した。日本は東の先端、偉大な巨人。小さな巨人とは小さな物の中に巨大な力がある。南米で啓示を受け、それを伝えると約束して戻ってきた。	J K L N
B336	イエスとキリスト	イエスは肉体・自我、キリストは生命・神我。人や形ある物に頭を下げてはならぬ、原因であるキリストに頭を下げねばならない。 地上界に仏が現れることを如来と言う。内在のキリストは天・生命・口ゴス。私達はイエスやお釈迦様を拝むのではなく理想とするべき。私を通して為してるのは神だと、毎日言い聞かせることが大事。	O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B337	殺生 ★	殺すとは贅沢、必要以上に物を持つこと。贅沢に有り余るほどあるのは殺生。必要ないのにたくさん財産を持つ、有り余るほど作って残飯を捨てる、着けない洋服をタンスに詰め込む、車を何台も持つ。これは物に感謝のない状態。無殺生・素朴な生き方とは、必要な分だけ物を持つ、必要な分だけ食べる。必要以上に食べたり、物を腐らせるのは殺生。殺生したら苦しみが来る。	L O
B338	昼と夜	本来昼あるのみ、夜は光の隠れた状態。本来真我あるのみ、自我とは真我の現れてない状態。自我人間は夜人間、真我が現れると昼人間。太陽は絶対 不変不動。太陽に向いてると昼、反対側は夜と名付けた。地球は回転・循環するから夜がある。光一元とは反対側を見ると闇、本来闇はない。昼は終わらない、永遠。	K N
B339	男性と女性	原子は男性の原理、電子は女性の原理。陽極と陰極の交わり、原子と電子の結合で物は存在する。男性は能動的で行動力が激しい、愛したい。女性は受け身、愛されたい。象徴的にアダムは原子 イブは電子。性的交わりとは、原子と電子の巡り合い。 男性が多くなると破壊的になり地球は滅びる。女性が多くなると子供を生み繁盛する。女性が少なくなると男性は混乱する。	K
B340	守護霊と背後霊	幽界では、類は類を呼ぶの法則で作り上げた色々な精心グループがある。幽界でも真理を説き 働くグループがある。地上界と同じく幽界には相重なったもう一つの地があり、地上界の思想が抜けず向こうでも同じ事を繰り返している。幽界・靈界を学んで、そこに引っ掛からないでスムーズに天上界へ帰って欲しい。外部に影響を受けない不動の心になるため、この地上界は修行に適した場。	
B341	空は男性原理（陽）色は女性原理（陰）	宇宙には空という陽極と、色という陰極しかない。 空気 = 宇宙エネルギーを地上界では酸素・息、質料は水素と呼ぶ。 エアー装置で汚い水に細かい酸素を入れると、白いきれいな活性水になる。水はH ₂ O、酸素と水素のバランスのとれた状態。 神は宇宙科学そのもの。色と空のバランスで物は存在する。	J
B342 '2023	神は全存在の本源	神、生きるが故に私は生きている。神あるが故に全ては存在する。 神 = 生命が存在の本源、皆同根。全ては神を表現する為にある。 同一の生命、これを知ると自我は消滅する。全一体を悟ることが最高の目的。生命を見ることはできないけれど 観ずることはできる。 真理は、知性や理性の背後にあるもの。	N
B343 '2023	我即大靈	宇宙そのものが大靈界。物質界はない、全ては靈である。 色即是空～形ある物は全て靈の中にある。身も心も靈である。 イエスは戸が閉まっていても入ってきた。お釈迦様もよく自分の肉体を遠い国へテレポートした。どこにでも姿を現してたのが仏陀。それは靈の認識で可能。靈的体験は一切が靈だという思いを起こすだけ。	
B344 '2023	自分の存在の目的 ★	私という神・実相を肉体を通してあるがままに顯現する、完全無欠・無病なる我を現すこと。本来 罪も病もない、自ら作ったもの。不完全を無視して否定する。夢の中でイエスに完全性を試され、病人の癒しや死人を蘇らす。あなたに完全信仰があるか？キリスト意識は完全意識。病人の癒しは求められれば行う。魅力菩薩とは内なる美を現す。	
B345 '2023	人生の目的	人の生きる目的は神我顯現。食欲・金欲・性欲を楽しむ為ではない。人が裁かなくても必ず法則が裁く。悩み苦しみ・病気は罪の結果。植物・動物は人間の波動で病気になる。イエスは完全であれと言われた、病気は奇跡。思いはエネルギーの変換器、善意で正しい思いを持つ。自分で答えを出さない限り変わらない。罪は自分の良心が裁く。	O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B346 '2023	神我は生命のパン ★	キリストを食するとは受け入れる容認する。私達は独自で生きて働いてると錯覚してる。イエスが「私と父なる神は一体である」と言ったのは、私とは肉体のことで、自分の中に生きてる神我を「父なる神」と言われた。今私を通して語られてるのは神、あなたのの中に現に生きるのは神ご自身。それをなかなか受け入れるのが自我。イエスは二千年前に十字架と復活を通して生命は永遠だと証明した。	N O
B347	唯一不二の神我	あなたの神我・私の神我はない。唯一不二の絶対なる神我あるのみ。多は一なる物の中におり、一なる物は多の中に現れている。 肉体や魂は、内なる物を外に顕現するために造られた物。 放蕩息子が父の身元に帰ると、きれいな着物に着替えさせられてから宴会に預かる。今までの考え方から360度、逆転する。	
B348	天界とは何か	天界とは神意識の次元。神意識に似通った意識にならないと天上界に帰れない。まず朝起きたら何を意識しているか？金・物・肉を意識してたら一番低い次元。愛情は未熟な愛、愛の汚れたもの。牧師はバブテスマを受けて天界に帰れると言うが、眞の『洗霊』は愛情の汚れを落とし愛に蘇ること。全ては一つとみなした時、天界の住者となる。	
B349	分離即不純 ★	一体感がない限りは分離・不純。不純とは無純、汚れ。罪とは無知・迷い。背後においては 精も生命も質料もみんな一つ。分離感では人を愛せない、取引・不純の愛。全一体感となって初めて人を愛せる。 私が去った時に本当に真剣に求めていたのかどうか分かる。偉大な魂でなければ、ここに集って話を理解することはできない。	D M
B350	父と子は一体	父とは神、子とは表現。父の中に子はおり、子の中に父はおられる。私というのは表現の私と 内なる私の二通りある。私は父であると同時に子である。ダビデ王は「私の心臓を造り 一切合切を造り、私を管理しているのは神ご自身である。私は神を現わす道具」と言われた。 これを認めないのは神への抵抗・反発・冒涜。イエスのように手足に釘を打たれても 神を認める信仰か、周囲を恐れるペテロの信仰か？	M
B351	外は人間 内は神	見える物は結果、その背後に原因がある。外を見れば人間、内を見れば神。花を作ったのも 自分の中に働いてるのも、同じ神。 神は一神にして多神。全ては神の物・神の表現。神のご意志があるだけ。自我とは神への抵抗。悲しみ・不安・恐怖があるなら、神をまだ受け入れてない。外は変化、内は不動。外なる影響で心が揺れ動く。 見える私の背後にある、靈的な私が眞我。	
B352	靈のみが実在す	宇宙靈あるのみ、大靈の中に全てはある。一柱の神が全てを造り、その中に全てがある。靈において区切り 差別はない。瞑想は大靈に一点集中し 我は靈なりと肯定する。惡靈とは靈を悪用した間違った表現。靈的力を正しく使えば幸せ、間違って使えば不幸せ。絶対善の善靈あるのみ。バイブルーションを上げるには、靈的觀念と一体化して見えない物となる。核である原始細胞は 大靈と一体。沖縄最後の講話。	N
B353	人間の波長について ★	思いが波動として出ている。人の役に立ちたい、人を助けてあげたいと思ってる人は高級界からの指導を受ける。自分だけ救われたい、人はどうでもいいという人は、低級靈からの波動を受ける。 人の喜びを 我が喜びとして受け取れる者になりなさい。聞いて解ったけど 行なわないなら罪が重い。それは欲望があるから。私は良いと思ったら即実行する。地球にも幽体・靈体・神体層がある。	A M N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B354	魂の成長について ★	この世の困難は、魂の成長のためにある。地上界は修行の場。苦しみの体験を通して、それを克服する智慧と力が養われていく。それを魂の成長と言う。克服していない部分、宿題がまだ終わっていない方はここを離れて行く。魂が熟していれば、神が自ずからここに誘導して下さる。親兄弟でも熟していなければ、ここに導けない。	N
B355	幼児の魂と大人の魂 ★	魂は何回も生まれ変わり、色々な体験をして成長する。皆さんが靈的な物を理解できるのは、それ相当の輪廻をしている。人間の本性を学び、解脱・卒業していく過程。まだまだ地位・名・財が欲しい方は体験不足で幼稚の魂。唯物論で他力本願。幼稚園生と同じで、教会で歌ったり童話を聞いて先生の教えに頼るしかない。小学一年生になると読み書きをして、学びを自力でやり始める。	NO
B356	識別心について	言っていい事、思っていい事、やっていい事と悪い事を識別する。それができないと苦惱を味わうが、解らないというのは幼稚の魂。人を傷つける言葉・苦しめる思い、私達は識別心にまだ無責任である。愛ある言葉・思い・行為をやっていると幸せになる。意識したものは全て環境・生活に現れる。日常生活での識別心を修行する。	JO
B357	自分を愛するには ★	皆さんは自分を愛して、信じることができない。心にたくさん欠点・悪い友達がいる。悪をハートに住まわせてはならない。自分を愛できない者が人を愛せない。清い心で、清い愛ができる。汚い心から、一つ一つ悪を追放して撲滅すること。イエスは40日間の断食中に悪魔が誘惑した。お釈迦様も瞑想中に色魔が出た。それは心の中にあった欲望。心の魔を退治するのが洗靈。	O
B358	解脱について	観念・外念・自己限定。それが私達の悩みの種、神我を悟らないように覆い被さっている原因。これから解脱すれば神我の自分、眞の愛が生じる。本物のあなた方は無限の自由。今までではイルミネーションに入るのも個人個人だったが、今度は団体で入ることができる。	O
B359	肉眼と心眼 ★	肉の目は偽物・映しを見る目で不完全。この世の声は耳障り・影なる声。悪の住み家の扉を閉ざすとは、五感の肉の目・耳・口を閉ざすと心眼・本物の目が開いて見聞きできる。それは高い次元の物が印象として浮かんでくる。今さんは三次元の一番低い意識レベル、複雑な存在に閉じ込められてる。催眠状態にある。	N
B360	人類とは何か ★	類魂・類似の物。人類の中心はシャンバラ、全てに中心がある。動物類は群魂、犬類・猫類等がある。類似の物同士は結婚して子供を生む、同類の波長を持つ。地球惑星、太陽系、銀河系、無限宇宙にも中心核があり、その親元・核は神。全ては一つに連結されている。宇宙の中心核から出る七つの光線によって、物は類似を現す。	EK
B361	カルマの克服	カルマとは自我。即ち不調和・ドグマ・罪・業。カルマを知っても救いにはならない。神の意志に反するものを取り除くまでは輪廻する。愛・調和になって解脱する。知識的に知って有頂天にならぬよう気をつける。真っ黒い物がある限り、不安と恐怖。皆さんの愛は、砂浜の砂の一点にすぎない。愛で自分を支配するとカルマの克服。	
B362	理想実現	内なる理想と外なる理想がある。多くの人は家・物・金が欲しいと物的な欲望を持つ。それが満たされると今度は靈的な欲望が出てくる。実相は無実、完全無欠。内なる自分が現れることが地上天国。瞑想・内觀を通してのみ理想実現する。あなたの理想・尊敬する人は誰か?	
B363	意識の高揚	意識を持たない人間はない。意識の高い人とは愛の深い人。意識の低い人は怒り憎しみ、嫉みっぽい人。宇宙のバイブルーションは愛。愛と破壊では波長が合わない。真理を学ぶと友達は変わる。本来は夫婦で学んだ方が良い。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B364	宇宙法則	宇宙法則とは一言、『愛と調和』。不調和を犯すがゆえに人間は悩み苦しみ、病気になる。愛は人間には、愛情として与えられている。陰と陽が一つになり中性になると、物・光・力が現れる。私達は愛の塊。この世は愛の訓練場・レッスンの場である。	
B365	波動の高揚 ★	形ある物は波動・エネルギーを持つ。金・プラチナ・銀など…鉱物、植物、動物みんなエネルギーの放射体。今人間はそれ以下の波動。食べて下から出る物は、エネルギーを抜いた糟だから皆嫌がる。音色と言って波動には色があり、色や音もエネルギー。高度な花の色を現す光線がある。自我を持つ動物ほど叩くと怒る。人間の波動園にいる犬・猫・家畜は、人間の影響を受けて感情が出たり病気になる。	K
B366	正道と邪道	正法・正道とは愛・調和そのもの。邪道とは人間が自由意思によって作り上げた自我の心、不調和の心。神の心には不調和は存在しない、人間の自由意思で神に相反するものを作り上げた。邪の道とは神を知らぬ、生命を知らず、自分を知らぬ迷い人のこと。常に愛に満たされてたら神に満たされている。愛は建設、あなたの細胞は活力を増す。	
B367	光と水と影 ★	光は中心、水は原始質料、影は投影・投射の世界。光なくて影は存在しない。映画を見るにも映写機の光、フィルム、スクリーンがある。宇宙の中心に光があり、エーテル界という水の質料を通して三次元の物質界に現される。光の自分は真我、影の自分は偽我。宇宙空間の水蒸気・エーテル質料に光が反射して、物質世界が投射される。	D N
B368	循環の法則	循環とは巡り巡って来ること、私達は循環の法則に基づいて生きている。発した物は全部自分に跳ね返ってくる、いいにつけ悪いにつけ。言葉・思い・行いを正さない限り 幸せにはならない。送った物は必ず送り主に返る、返り念は四倍。人間は送信機であると同時に受信機、能動原理と受動原理で出来ている。これが循環の法則。	K N O
B369 '2024	魂の進化 ★	魂は進化する、魂とは心・想念。未熟の魂は憎しみ、怒り、誹り、嫉妬という悪想念。熟した魂は正想念、聖なる想念。肉体は心の状態しか表現できない。魂の引き上げられた状態に応じて、肉体も引き上げられる。粗雑な闇の原子から、光の精妙な原子へと変化していく。細胞の少ない人の体は脆い、病気がち。それは想念の仕方が低い。	C D E J L N
B370 '2024	天国の住人になるには ★	心の状態の適した次元にしか帰れない。地上界は心を高め、整えるところ。真理を学び、法則を学び、心が整うほど、高い次元に帰る。地球には地球想念、周りの惑星にも各々の想念波動が流れている。高い心の器の者は高い次元・高い惑星からの波動を受け、悪なる心は低い次元の地獄からの受信機となる。今、最終期の7周期に入って、覚者方の意識が何十名と降りてくる。地上界の救済のために。	
B371	個性 ★	個性とは個別化された神、神性であり仏性。宇宙の創造は+ - の結合、陰性と陽性の巡り合いで出来ている。性そのものが神、全ては神を宿し、神の性格、神の遺伝子を持つ。皆さんは性なる子、この自覚が出来ることが大切、悟りと繋がる。東の先端、日本のことと小さな巨人と言う。日本の地図は、世界中のどこに行っても赤く塗られている、これも必然。	
B372	物質	物質とは靈と水の結果。陽子と陰子の結合が、結果として物質という色の世界が存在する。これが宇宙の創造原理。神はなぜ中性か？陰子と陽子の結合が、二つで一つ重なり合って存在するから。もし陰と陽の愛がなければ、結果のあなたは存在しない。皆さん方の本性本質は愛、これが宇宙の法則。宇宙の法則は愛の法則しかない。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B373	神は両性	結婚とは一つの法則、+とーは引きつけ合う引力を持っている。夫（陽極）妻（陰極）、宇宙は陰極と陽極のバランス。陰陽の法則。大宇宙は一つの陰極・陽極の電源、両極ある、神とは電気である。自然の心とは愛の心、自然は全て愛を表している。本当の愛とは陰と陽のバランス。今人間はエゴでバランスを崩している。	
B374	靈魂	靈の塊とは、エネルギーの塊。形あるものは皆、靈魂。形をとった靈と形をとらない靈は同一の靈、唯一不二の靈。何を見ても靈と見なす。始めから大靈だった、これを知ることが一番大切。不幸災難が起こるのは、我々が不調和であるから。大調和そのものになつたらゴミは付かない、不都合なことは一切起こらない。	
B375	第三の目	第三の目とは本源本質、存在の本源、実相が見えること。一つ目、神の眼。そこから物を見た時、全一体感、全ては我、本当の真の自己に目覚めた者となる。本来は愛ある心しかない、それを汚しているのは我々自身。汚すのも清くするのも自分自身。我々の守護の靈はオーラを通じて守護する。オーラが曇っていれば、守護することが不可能。	P
B376	カルマの法則	カルマは幻想で実在しない。真理を知らぬ誤った心の状態がカルマ。お釈迦様は全てが不滅である、遠生であると知ることで克服された。真理は絶対に克服できないもの、真理に反することは全て克服できるもの。あなたの勘違い（カルマ）が自然法則として、あなたを支配している。勘違いのない人にはカルマの法則は働きようがない。	M
B377	人生は試練	試練とは自分を鍛えること。良いこと悪いことを通して学び、どちらの状態にも囚われない自分を最終的に確立する。毎日が試練であることを忘れないこと、地上界は試練の場。熟した魂は強烈な試練を受けて、最終的な成就をする。未熟な者に大きな試練は与えられない。『苦しきものよ幸いなり』境遇・環境が悪い所に置かれるのは幸い。	O
B378	陰陽の法則	物事には必ず+能動原理とー受動原理がある、これが陰陽の法則。人間は外側の物質に偏って、内側の能動的なものを信じない、無視している。一極が+極を無視したら、光らない、力が出ない。眞の愛とはーの法則を侵さない、内なる靈的な物と物的な物とのバランス。バランスがとれていれば完全であり、力があり光がある。	
B379	電気	電気は愛、愛は力、愛は光。 神は愛なり、+極であり、ー極もある。宇宙には+ーの電極が無限大に存在している。それを無限の力、無限エネルギーと言っている。 無限の生命と言っている。神は無限の存在である。 神をある程度具現したのが、電気状態、神の象徴。	J
B380	エネルギーと人間	真理（原因）は説明ができない。全てが神であるが故に、神は説明ができない。人間も万象万物も、全て神という宇宙エネルギーの結果。エネルギーは区切ることができない、無限エネルギー。 形ある物の中にだけエネルギーがあるわけではない。固定観念、有限観念を捨てねばならない。エネルギーの追求は神の追求。	
B381	自由意志と自由選択	自由意志とは色々なことを思うことができる意識。それは人間にだけ与えられていて、鉱物・植物・動物には与えられてない。 肉として生きるか、靈として生きるか、毎日選択を迫られている。 思い・言葉・行いに自由選択があり、その選択を間違うと罪・汚れとして現れる。自由意志があなたを不自由にしている	D N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
B382	言葉とは何か	言葉は靈、神に属するもの。肉体そのものに言葉がある訳ではない。今は自分が話しているという自覚しかない。神の自覚がなければ影の声、外に属する声。神のみが生きて神のみが働く、神が語る。それがはっきり自覚できれば謙虚・謙遜となる。結果に生きて原因・答えを追求してない。沢山の答えを出していない、応用問題を抱えている。	
B383	父母についての内観	外念で捉えると、肉の父母だと勘違いしがち。父とは靈的質料、母とは物的質料、その父母の深い理解がなされてない。 内を見れば全ては神、一切の生みの親、生命であり、知恵、力である。瞑想を通して、その意識まで持っていくことが本物の内観。 人間の正体・実体は白光、その白光の影を見るから肉の観念が出る。	
B384	地水火風	四元要素は生きる為にも、宇宙が存在する為にも欠かせない要素。物は全てエネルギーで存在し、そのエネルギーが生命であり、靈。+核-核のバランスのとれた状態がエネルギーのある、自然な神から与えられた状態。人間のエゴが、そのエネルギーの核を狂わせている。化学が曲者、神が作った自然を化かす。地球は今、末期の状態。	
B385	靈体 幽体 肉体とは何か	靈体とは気体、非物質、空。幽体とは液体、半物質。肉体とは物体、物質。幽界も物質界も大靈の中に存在している。区切られた次元はない、区切ることはできない、一つの物の現れだから。 個人意識は動搖、大靈意識は不動心。不動心とは大靈との一体感。	
B386	意識の高い人 意識の低い人	意識が高い人とは愛深い人。『我神なり』と思った瞬間、神のバイブルーションを現す。思ってる通りの物しか具現されない、それ以上の物でも以下の物でもない。心の状態の波動しか出ない。 四六時中神を思いなさいとは、神意識に留め置きなさいという意味。疲れは神からの分離によって引き起こされている。	
B387	無限生命と無限の質料	最初に私たちは気体、そして液体の中で赤ちゃんは固体へと変化して生まれてくる。これが人間、気体→液体→固体へと変化した状態。無限質料の中に私達は生存している、一つの大いなる体しかない、そこには一つの意識、一つの生命しか存在しない。私は全ての中に生存し、皆さんは私、私は皆さんです、これを"一体観念"と言う。	

※これ以下の新しいリストは、随時 更新していきます。

また、誤字・脱字なども含めて 見直し、訂正していきます。